

平成 28 年度
石岡ふるさと再生プラン
施策評価シート

施策の大綱

【基本理念】 【将来像】

【政策目標】

【基本施策(ページ数)】

人が輝く

安全・安心

共生・協働

誰もがいきいきと暮らし輝くまち いしおか

誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
(都市基盤) P1~10

- ◆ 駅周辺・市街地の整備(3)
- ◆ 公共交通機関の充実(4)
- ◆ 道路の整備(5)
- ◆ 計画的な土地利用の推進(6)
- ◆ 下水道の整備(7)
- ◆ 公園・緑地の整備(8)
- ◆ 住宅の整備(9)
- ◆ 地域に調和した景観の整備(10)

豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
(産業・経済) P11~16

- ◆ 企業誘致の推進・工業の振興(13)
- ◆ 商業の振興・中心市街地の活性化(14)
- ◆ 農林業の振興(15)
- ◆ 観光業の振興(16)

人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
(生活・環境) P17~26

- ◆ 交通安全の推進(19)
- ◆ 防犯対策の充実(20)
- ◆ 消費生活の安全確保(21)
- ◆ 省エネルギーの推進・新エネルギーの導入促進(22)
- ◆ 上水道の整備(23)
- ◆ 循環型社会の構築(24)
- ◆ 環境保全の推進(25)
- ◆ 協働によるまちづくりの推進(26)

災害に強く安心して暮らせるまちへ
(消防・防災) P27~32

- ◆ 消防・救急体制の充実(29)
- ◆ 防災機能の整備・強化(30)
- ◆ 防災体制の充実(31)
- ◆ 地域防災力の向上(32)

健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
(健康・福祉) P33~42

- ◆ 健康づくりの推進(35)
- ◆ 地域医療の充実(36)
- ◆ 子育て環境の充実(37)
- ◆ 高齢者福祉や介護予防の充実(38)
- ◆ 障がい者福祉の充実(39)
- ◆ 地域福祉の充実(40)
- ◆ 生活困窮者等の自立支援(41)
- ◆ 社会保障制度の安定した運営(42)

歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
(教育・文化) P43~52

- ◆ 創意ある学校教育の推進(45)
- ◆ 学校施設の整備・充実(46)
- ◆ 生涯学習の推進(47)
- ◆ 生涯スポーツの推進(48)
- ◆ 文化・芸術の推進(49)
- ◆ 青少年の健全育成(50)
- ◆ 歴史・文化財の保護・活用(51)

時代の変化に的確に対応できるまちへ
(行政運営・経営) P53~62

- ◆ 積極的な情報発信と対話の充実(55)
- ◆ 庁舎の整備・行政サービスの充実(56)
- ◆ 地域情報化の推進(57)
- ◆ 広域行政の推進(58)
- ◆ 男女共同参画の推進(59)
- ◆ 国際交流の推進(60)
- ◆ 人材育成の強化(61)
- ◆ 行財政改革の推進(62)

施策評価シートの読み方

政策	
基本施策	作成対象施策の基本情報 ・ 施策体系のどこに位置づくものか、具体的にどのような取り組みをしているかを記載しています。
具体的取り組み例	

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>総括評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度末時点の内容を以下の主要事業の概要、成果指標、市民満足度調査から読み取り、どのような評価をしているかを記載しています。 <p>評価基準</p> <ul style="list-style-type: none"> A・・・成果が認められ、順調。 B・・・若干課題や問題があるが、概ね順調。 C・・・一部成果は認められるものの課題や問題があり、改善が必要。 D・・・成果が認められず、廃止も含めた見直しが必要。
<ul style="list-style-type: none"> A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要 	今後の方向性
	<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 成果を踏まえ、今後の方向性や改善点等を記載しています。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
	<p>主要事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 構成する事務事業の成果と今後の方向性を記載しています。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
	<p>成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 石岡ふるさと再生プランに記載している成果指標の達成状況を記載しています。 				

4 市民満足度調査

	<p>満足度 (●で表記)</p>	<p>重要度 (■で表記)</p>
<p>市民満足度調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民満足度調査の3カ年分の満足度重要度の推移を記載しています。 いずれも5点満点で調査しています。 		

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1 駅周辺・市街地の整備	B	<p>駅舎の橋上化及び東西自由通路の整備工事が完了し、駅の利便性向上が図られた結果、市民満足度が向上しました。</p> <p>東口を利用する人数が増えた結果、歩行者通行量が大幅に増加し、また西口駅前広場の混雑もやや解消されました。</p> <p>駅舎工事が予定通り完了したため、西口駅前広場とBRT駅前広場の工事を順次進めていきます。</p>	<p>更なる賑わいづくりのため、駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。</p>
2 公共交通機関の充実	B	<p>少子高齢化により、地域公共交通の重要性が見直され、重要性が増すなか、乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をすることにより、移動制約者等の移動手段が確保できています。</p>	<p>様々な取組みを進めることで、移動制約者等の移動手段を確保していますが、今後も効率的な事業展開と利用促進活動を進める必要があります。平成28年9月から空港バス発着広場が供用開始となり、利便性の向上が図られました。</p>
3 道路の整備	B	<p>幹線道路の整備については、既に完了した1路線を除く5路線について、現在用地買収及び改良工事が進められています。また、地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的かつ効果的に事業を進めております。</p> <p>既存道路の改良・拡幅整備については、必要性・緊急性の高い箇所を適宜見極めながら、待避所整備を進めており、市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて、限られた予算の中で効率的な事業を行っています。</p>	<p>道路の整備については、国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅については、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的かつ効果的な事業を推進していきます。</p>
4 計画的な土地利用の推進	B	<p>現行の都市計画マスタープランに示された事業は概ね達成・実施されているほか、現在事業中のものもあります。</p> <p>地籍調査事業においては、年次計画どおりに実施し完了しています。</p>	<p>平成28年度に策定する都市計画マスタープランにおいて当市のまちづくりの目標を定めてまいります。また、効率的な土地利用に努めてまいります。</p>
5 下水道の整備	B	<p>生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき、下水道の効率的な整備を進めています。また、下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定)に基づき、計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めています。</p>	<p>今後も引き続き、各計画に基づき、下水道の効率的な整備及び計画的な老朽化対策を進めていきます。</p>

01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6公園・緑地の整備	B	<p>平成26年度に比べ平成27、28年度の満足度調査が減となっています。これは平成26年度に遊具更新を実施したことにより利用者の満足度が上がったことによるものと思われます。現在は、工作物などの長寿命化を年次計画により実施しております。</p>	<p>公園の長寿命化については年次スケジュールに基づき計画的に実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては引続き募集を募り、公園の維持管理や防犯に努めてまいります。</p>
7住宅の整備	B	<p>市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在まで計画的な改善事業が進められています。</p> <p>また、高齢者世帯や子育て世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通利便性の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までに対象物件入居率は6～7割前後で推移しています。</p>	<p>市民が快適に安心して暮らせるためには、住宅の計画的な長寿命化や、民間住宅の効率的な活用等を通じて、暮らしやすい環境を整備することが重要であることから、今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。</p>
8地域に調和した景観の整備	B	<p>開発許可案件における完了検査率及び建築パトロールの実施件数は、いずれも現状で目標値を上回っていることから、無秩序な宅地化や違反建築の防止に高い成果を得ており、市内における適正な土地利用については秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。</p>	<p>目標に対する高い達成水準を維持するためには、適切な行政指導と地道な啓発活動を必要とすることから、引き続き計画的な事業実施に努めます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	01 駅周辺・市街地の整備
具体的取り組み例	石岡駅舎の橋上化，駅周辺のバリアフリー化

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	駅舎の橋上化及び東西自由通路の整備工事が完了し，駅の利便性向上が図られた結果，市民満足度が向上しました。 東口を利用する人数が増えた結果，歩行者通行量が大幅に増加し，また西口駅前広場の混雑もやや解消されました。 駅舎工事が予定通り完了したため，西口駅前広場とBRT駅前広場の工事を順次進めていきます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	更なる賑わいづくりのため，駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。

2 主要事業の概要

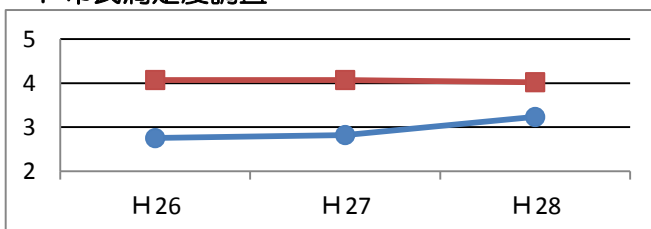
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
駐車場会計（総括） 【都市計画課】	交通機能とリンクした施設であり，著しく利用率が増減するものではないと思われます。駐車場マスなどの拡大も視野に入れながら，利用しやすい駐車場運営に努めていきます。
石岡駅周辺整備事業 【都市計画課】	平成28年度末の完了に向け，西口駅前広場やBRT専用道など駅周辺の整備を進めていきます。
駅周辺整備基金費 【都市計画課】	基金については段階的に取り崩し，事業費に充てていく計画であります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	4,850 (H21)	4,880	4,360
交通バリアフリー（特定旅客施設）整備率	駅舎，自由通路のバリアフリー化率	%	20.0 (H22)	40	63
東西自由通路の歩行者通行量	東西自由通路の歩行者数	人	1,459 (H22)	1,750	2,765
市営駐車場利用率	一日平均利用台数	%	69.1 (H24)	70	71

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.75	4.07
平成27年度調査	2.82	4.07
平成28年度調査	3.23	4.02

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	02公共交通機関の充実
具体的取り組み例	乗合タクシーの運行，路線バスの運行補助，バス専用道路の整備促進

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	<p>少子高齢化により，地域公共交通の重要性が見直され，重要性が増すなか，乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をすることにより，移動制約者等の移動手段が確保できています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>様々な取組みを進めることで，移動制約者等の移動手段を確保していますが，今後も効率的な事業展開と利用促進活動を進める必要があります。平成28年9月から空港バス発着広場が供用開始となり，利便性の向上が図られました。</p>

2 主要事業の概要

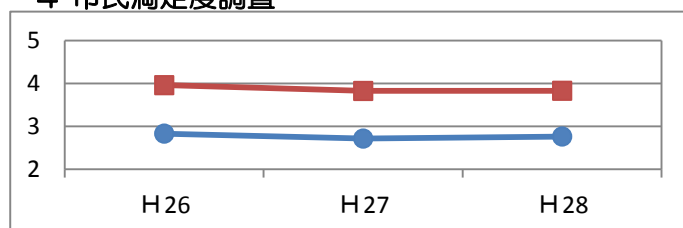
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
地域交通対策事業【政策企画課】	移動手段等を確保するとともに，今後も効率的な事業展開と利用促進活動を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
市内主要公共交通機関利用者数	1日当りの市内主要公共交通機関利用者数	人/日	7,954 (H24)	8,000	7,796

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.83	3.96
平成27年度調査	2.72	3.83
平成28年度調査	2.76	3.83

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O3道路の整備
具体的取り組み例	道路の改良，拡幅整備，維持管理，補修

1 総括評価

B	評価コメント
	幹線道路の整備については、既に完了した1路線を除く5路線について、現在用地買収及び改良工事が進められています。また、地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的かつ効果的に事業を進めております。 既存道路の改良・拡幅整備については、必要性・緊急性の高い箇所を適宜見極めながら、待避所整備を進めており、市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて、限られた予算の中で効率的な事業を行っています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	道路の整備については、国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅については、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的かつ効果的な事業を推進していきます。

2 主要事業の概要

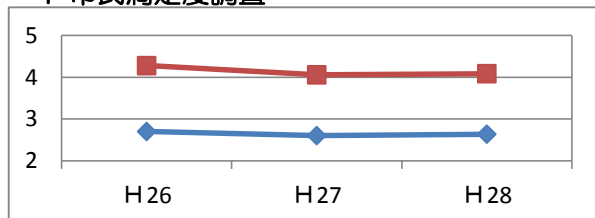
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
合併市町村幹線道路緊急整備支援事業【都市計画課】	現在、八郷新治線（朝日トンネル）1路線が完了し、他5路線についても用地買収及び改良工事を進めております。今後も国、県補助金と合併特例債を活用して早期完成を目指します。
狭あい道路整備事業【建築住宅指導課】	道路交通の安全性が向上し居住環境が改善することで、法令順守に対する住民への周知・啓発に一定の効果が期待できるため、今後も継続して取り組みます。
地方道路等整備事業【道路建設課】	現在、石岡地区5路線、八郷地区4路線を計画していますが、限られた予算の中で、事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていきます。
道路維持経費【道路建設課】	補修要望について、補修箇所の現地測量及び復旧工法の精査により工事費の圧縮を行い、優先度の高い箇所から補修・改修を行っています。原材料支給については、支給前に全要望箇所の調査を行っているため、地区の実情に則した必要量の配分を行います。
狭あい道路待避所整備事業【道路建設課】	安全にすれ違いができるよう、必要性・緊急性の高い箇所から効率的に待避所整備を行います。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
合併支援道路整備延長	合併支援道路整備延長（6路線）	m	⁰ (H22)	8,231	5,299
地方道路等の整備延長	地方道路等整備事業による道路改良延長	m	6,332 (H22)	10,650	9,485
狭あい道路補助実施延長	狭あい道路整備事業により拡幅整備した道路延長	m	³⁶⁹ (H22)	300	314.54
狭あい道路待避所整備箇所数	狭あい道路待避所整備事業による整備箇所数	箇所	⁶ (H25)	34	14

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.70	4.28
平成27年度調査	2.60	4.06
平成28年度調査	2.64	4.08

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	04計画的な土地利用の推進
具体的取り組み例	効率的な土地利用を誘導する取組

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>現行の都市計画マスタープランに示された事業は概ね達成・実施されているほか、現在事業中のももあります。 地籍調査事業においては、年次計画どおりに実施し完了しています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>平成28年度に策定する都市計画マスタープランにおいて当市のまちづくりの目標を定めてまいります。また、効率的な土地利用に努めてまいります。</p>

2 主要事業の概要

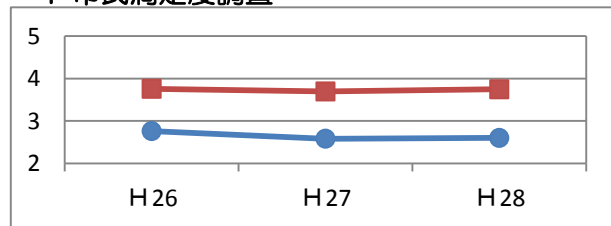
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
都市計画審議会経費【都市計画課】	平成27年度より進めている都市計画マスタープランの内容などについて継続審議を行い、平成28年度に策定を予定している。本市の都市計画における基本的な方針を長期的・総合的に検討し、安全・安心で快適なまちづくりを進めるための目標方針を定めていきます。
都市計画一般経費【都市計画課】	違法広告物の実態調査などを実施し、適正な設置の推進と土地利用を図り、良好な景観の形成に努めてまいります。
地籍調査事業【地籍調査課】	年次計画に基づき、着実に事業を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
市街化区域内土地利用効率	市街化区域内における都市的土地利用効率	%	78.7 (H22)	79	78.7
国土利用計画法の制度周知PR	国土法に基づく適正な取引促進のための市報等でのPR回数	回	1 (H22)	4	2
国土利用計画法に基づく事後届出の違反事案件数	提出期限後の届出等の違反事案件数	回	7 (H25)	2	7

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.76	3.76
平成27年度調査	2.58	3.70
平成28年度調査	2.60	3.75

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	05下水道の整備
具体的取り組み例	下水道の整備，合併浄化槽の補助

1 総括評価

B	評価コメント
	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき，下水道の効率的な整備を進めています。また，下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定)に基づき，計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	今後も引き続き，各計画に基づき，下水道の効率的な整備及び計画的な老朽化対策を進めていきます。

2 主要事業の概要

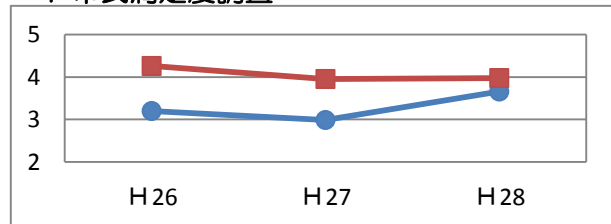
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
下水道会計（総括） 【下水道課】	現状を鑑み，整備計画を見直しを行い，管渠，マンホールポンプ等を含めた下水道施設全般の長寿命化計画の策定を行い，適正な施設の維持管理，長寿命化に取り組む必要があります。
農業集落排水事業会計（総括） 【下水道課】	未接続者及び宅地内工事業者に新設した補助金等の情報発信，未接続者への個別訪問等による接続依頼を継続し，接続向上に取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
生活排水処理総合普及率	処理区域人口／行政人口	%	75.7 (H22)	80	81.8
水洗化普及率（下水道）	水洗化済人口／処理区域人口	%	77.9 (H22)	82.2	84.7
水洗化普及率（農業集落排水）	水洗化済戸数／処理区域戸数	%	56.1 (H22)	65	65.4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.20	4.26
平成27年度調査	2.99	3.95
平成28年度調査	3.66	3.98

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	06公園・緑地の整備
具体的取り組み例	公園長寿命化計画に基づく維持管理，公園里親の募集

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	平成26年度に比べ平成27，28年度の満足度調査が減となっています。これは平成26年度に遊具更新を実施したことにより利用者の満足度が上がったことによるものと思われます。現在は，工作物などの長寿命化を年次計画により実施しております。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	公園の長寿命化については年次スケジュールに基づき計画的に実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては引き続き募集を募り、公園の維持管理や防犯に努めてまいります。

2 主要事業の概要

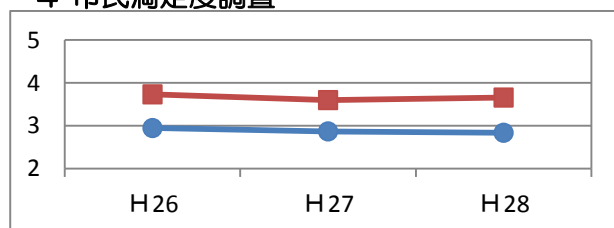
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
桜つつみ維持管理経費【まちづくり協働課】	エンゼルパトロール(無償ボランティアによる防犯パトロール)会員の登録者の増加を図ります。
公園維持管理経費【都市計画課】	緊急性の高い公園施設から順次，長寿命化工事を行っております。策定計画による年次スケジュールにおいて平成26年度からの10箇年で工事を実施して参ります。安心して利用できる公園を目指し，日常的に維持管理を行ってまいります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
公園長寿命化計画	都市公園改修施設箇所	箇所	0 (H24)	26	13
公園里親制度加入団体数	公園里親制度への加入団体数	団体	7 (H22)	10	8

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.95	3.73
平成27年度調査	2.87	3.60
平成28年度調査	2.84	3.66

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	07住宅の整備
具体的取り組み例	市営住宅の整備・改修，木造住宅耐震改修の促進

1 総括評価

<div style="font-size: 48px; font-weight: bold;">B</div>	評価コメント
	<p>市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき，現在まで計画的な改善事業が進められています。</p> <p>また，高齢者世帯や子育て世帯等，配慮すべき世帯の住居の安定のため，交通利便性の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は，現在までに対象物件入居率は6～7割前後で推移しています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>市民が快適に安心して暮らせるためには，住宅の計画的な長寿命化や，民間住宅の効率的な活用等を通して，暮らしやすい環境を整備することが重要であることから，今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。</p>

2 主要事業の概要

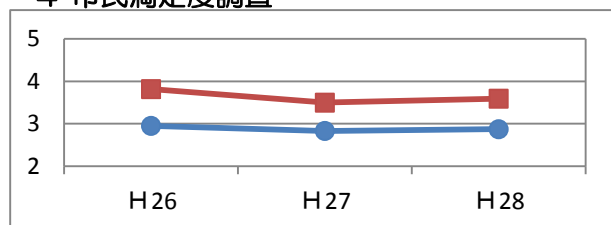
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
市営住宅長寿命化改修事業【建築住宅指導課】	長寿命化改修計画に基づき順次，改修工事を実施します。
木の住まい助成事業【建築住宅指導課】	定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから，事業継続が望ましいと考えます。
賃貸住宅ストック事業【建築住宅指導課】	事業拡大を図り平成27年度から30戸を目標に住居の安定により中心市街地の活性化を推進します。
住まいづくり推進事業【建築住宅指導課】	市外住民に対する事業であり，主に若年者の定住人口増加に寄与する事業と考えられるため，事業継続が望ましいと考えられます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
市営住宅長寿命化改修事業	改修棟数	棟	7 (H23)	24	18
ストック活用賃貸住宅入居世帯	制度活用により認定住宅に入居した世帯数	世帯	14 (H23)	30	19

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.95	3.82
平成27年度調査	2.83	3.50
平成28年度調査	2.87	3.59

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	08地域に調和した景観の整備
具体的取り組み例	景観条例の適正な運用による良好な景観の保全，無秩序な宅地化や違反建築の防止

1 総括評価

B	評価コメント
	開発許可案件における完了検査率及び建築パトロールの実施件数は、いずれも現状で目標値を上回っていることから、無秩序な宅地化や違反建築の防止に高い成果を得ており、市内における適正な土地利用ひいては秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	目標に対する高い達成水準を維持するためには、適切な行政指導と地道な啓発活動を必要とすることから、引き続き計画的な事業実施に努めます。

2 主要事業の概要

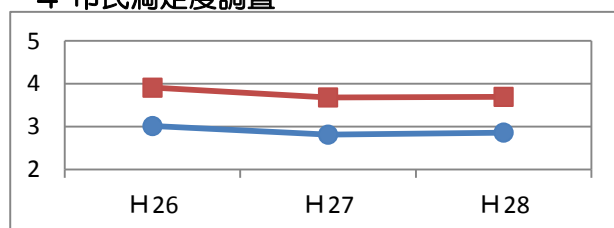
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
宅地開発指導経費【建築住宅指導課】	現状の完了検査率は高い水準にあり、今後も引き続き、完了検査受検の啓発リーフレットの作成・配布や、電話・文書等による催促、現地パトロール等を実施することにより、目標に対する達成水準の維持に努めます。
建築指導事業【建築住宅指導課】	違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており、上位目標の達成においても有効な事業であると考えられることから、引き続き適正な実施に努めます。
都市計画一般経費【都市計画課】	違法広告物の実態調査などを実施し、適正な設置の推進と土地利用を図り、良好な景観の形成に努めてまいります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
建築パトロール	パトロール実施件数	件	74 (H24)	60	83
完了検査率	開発許可件数に対する完了検査の受検数	%	84 (H24)	85	87.5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.01	3.91
平成27年度調査	2.81	3.68
平成28年度調査	2.86	3.69

02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1 企業誘致の推進・工業の振興	B	<p>ワンストップサービスによる企業誘致活動の結果、柏原工業団地を中心に新規企業の立地が進み、成果指標の目標値を達成しました。</p> <p>また、就職支援事業では、県内および首都圏の大学等への周知広報を強化し、就職説明会を2回開催して目標を達成するなど、労働力の確保に努めています。</p>	<p>少子高齢化・人口減少が進む中において、地域産業の維持・振興のため、引き続き、新規企業の誘致と既存企業の事業拡大・撤退抑制、および労働力の確保を図っていきます。</p>
2 商業の振興・中心市街地の活性化	C	<p>若い世代の消費者の商店離れには歯止めがかからず、また商店街組織の弱体化が進んでいるため、年間商業販売額や中小企業事業資金保証料補給金件数の目標値に至りませんでした。中心市街地空き店舗活用支援事業については、一定の成果を挙げてきましたが、目標値として挙げた居住者人口・歩行者通行量の増加には達しておらず、引き続きその目標に向かい、より積極的な活性化策を継続して行っていく必要性があります。</p>	<p>商店街が、子育て世代や高齢者にとって、コミュニティの場所となり、日々の生活において身近で必要不可欠な存在になることを目指します。また、中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づき、人口減少・高齢社会に対応した、都市機能が効果的に集積・配置されたコンパクトで暮らしやすく、また地域住民のニーズに応じた取り組みが、中心市街地に関わる多様な団体・人々によって実践されるまちづくりを推進していきます。</p>
3 農林業の振興	B	<p>農地中間管理事業等により農地の集積・集約化が進みつつあり、経営転換や高齢化等による離農対策に一定の効果が見えました。農作物の販売においては直売所の伸びとともに、産地・大学等の新たな連携による、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、知名度アップ、ブランドアップに期待が持てます。一方で、農業従事者については、高齢化が進む中で、後継者や担い手、新規就農者の確保・育成が課題となっています。</p>	<p>産地としての知名度アップ・ブランドアップを図るとともに、農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し、魅力ある農業、儲かる農業を目指します。また、集落営農の法人化や担い手・就農者の確保・育成を行っていきます。</p>
4 観光業の振興	B	<p>石岡市への観光入込客数は、当初の目標を達成できたが、平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており、計画の優先事業に取り組んだ結果、平成27年度実績では1,350,500人であり、計画における入込観光客数は概ね順調です。</p>	<p>豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため、観光振興計画に基づき、観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。また、平成28年9月にジオパークが認定されたことを、地域資源の魅力アップに繋げます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O1企業誘致の推進・工業の振興
具体的取り組み例	企業誘致の推進や地域に根付いた産業の活性化，就職相談会や面接会の実施

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	<p>ワンストップサービスによる企業誘致活動の結果，柏原工業団地を中心に新規企業の立地が進み，成果指標の目標値を達成しました。</p> <p>また，就職支援事業では，県内および首都圏の大学等への周知広報を強化し，就職説明会を2回開催して目標を達成するなど，労働力の確保に努めています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>少子高齢化・人口減少が進む中であって，地域産業の維持・振興のため，引き続き，新規企業の誘致と既存企業の事業拡大・撤退抑止，および労働力の確保を図っていきます。</p>

2 主要事業の概要

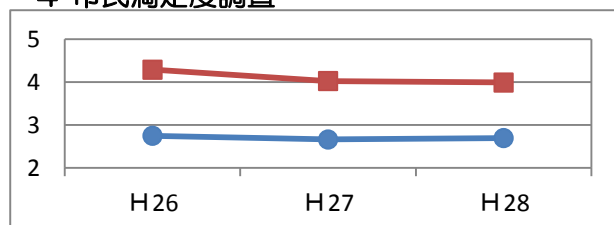
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
企業誘致推進事業【商工課】	柏原工業団地を中心とした遊休地への立地促進だけでなく，既存企業の事業拡大及び撤退抑止など，企業とのコンタクトを密にしたワンストップサービス機能を高めていきます。
就職支援事業【商工課】	目標には達していないものの，この事業により地元企業へ内定・就職した学生がいます。今後も，若い労働力を確保したい中小企業と，地元志向の学生とのマッチングを推進し，定住人口の減少に歯止めをかけられるよう事業の推進を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
柏原工業団地の土地利用 率	柏原工業団地の敷地面積のうち工場等家屋の建築面積が占める割合	%	28.96 (H22)	31.8	32.16
就職相談会，面接会の実施 件数	企業の就職相談会及び面接会を開催する件数	回	0 (H22)	2	2
【参考指標】企業誘致による 新增設企業数	企業誘致活動により工場等を新設・増設した企業数	社	0 (H22)	16	13
【参考指標】面接会参加による 就職内定学生数	就職説明会に参加したことで採用が内定した学生等の数	人	0 (H22)	20	5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.75	4.29
平成27年度調査	2.66	4.03
平成28年度調査	2.70	3.99

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O2豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	O2商業の振興・中心市街地の活性化
具体的取り組み例	特産物の魅力アップや商品化の支援，中心市街地での新規出店者支援

1 総括評価

C	評価コメント
	若い世代の消費者の商店離れには歯止めがかからず，また商店街組織の弱体化が進んでいるため，年間商業販売額や中小企業事業資金保証料補給金件数の目標値に至りませんでした。中心市街地空き店舗活用支援事業については，一定の成果を挙げてきましたが，目標値として挙げた居住者人口・歩行者通行量の増加には達しておらず，引き続きその目標に向かい，より積極的な活性化策を継続して行っていく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	商店街が，子育て世代や高齢者にとって，コミュニティの場所となり，日々の生活において身近で必要不可欠な存在になることを目指します。また，中心市街地活性化基本計画（第2期）に基づき，人口減少・高齢社会に対応した，都市機能が効果的に集積・配置されたコンパクトで暮らしやすく，また地域住民のニーズに応じた取り組みが，中心市街地に関わる多様な団体・人々によって実践されるまちづくりを推進していきます。

2 主要事業の概要

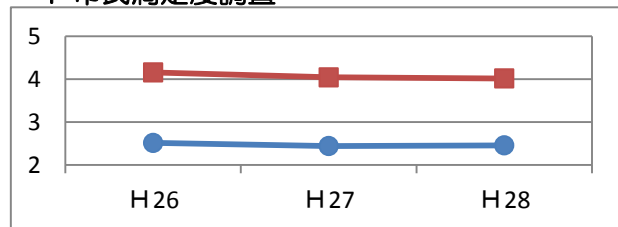
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
商工振興事業【商工課】	これまでいかに客を呼びかかとうことを考えて補助金等を支出してきましたが，インターネットやSNSが普及してきた状況を考え，いかに物を売るかという検討も必要になっていきます。
中心市街地活性化事業【商工課】	現在策定中の中心市街地活性化基本計画（第2期）の中で，見直しが必要な事業については，事業の実現可能性・継続性・効果を見極めながら改善を図ります。また，新規事業として，これまでの事業計画とは違った視点で事業の展開を図ります。そして，これらの事業計画により，1コンパクトな都市機能づくり，2住み続けられるまちづくり，3賑わいの導線づくり，4商業振興と地域資源みがき，5まちなか観光の事業実現に向けた取り組みを進めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	4,850 (H21)	4,880	4,360
中心市街地の歩行者通行量	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	2,644 (H20)	2,780	2,362
年間商業販売額	商業統計調査による市内商業販売額	億円	1,191 (H22)	1,191	1,053
中小企業事業資金保証料補給金件数	事業資金の融資を斡旋しその保証料を補給する件数	件	149 (H22)	200	141

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.51	4.16
平成27年度調査	2.44	4.04
平成28年度調査	2.46	4.02

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	03農林業の振興
具体的取り組み例	農産物の品質向上やブランド化の推進，新規就農者支援

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	農地中間管理事業等により農地の集積・集約化が進みつつあり、経営転換や高齢化等による離農対策に一定の効果が見えました。農作物の販売においては直売所の伸びとともに、産地・大学等の新たな連携による、高品質な果樹のブランド創りに取り組み、今後、知名度アップ、ブランドアップに期待が持てます。一方で、農業従事者については、高齢化が進む中で、後継者や担い手、新規就農者の確保・育成が課題となっています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	産地としての知名度アップ・ブランドアップを図るとともに、農地の集積・集約化による生産効率の向上を促進し、魅力ある農業、儲かる農業を目指します。また、集落営農の法人化や担い手・就農者の確保・育成を行っていきます。

2 主要事業の概要

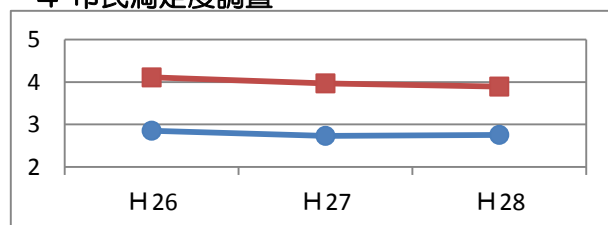
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
農業委員会一般経費【農業委員会事務局】	農地中間管理事業による利用権設定件数は、農地集積・集約化において一定の成果が得られました。今後は、営農継続が困難な農地を面的集積し、担い手に貸し出すことで、更なる作業効率向上による大規模経営体の育成が必要です。
農力アップ推進事業【農政課】	平成23年度から継続して取り組んできた販売促進PR事業が一定の目標を達成しました。今後は、a.直売生産・販売向上・市の知名度アップが必要です。b.果樹・園芸産地の維持・魅力アップを図るため、新品種や人気品種への改植、新しい栽培技術や施設整備が必要です。
新規就農者支援対策経費【農政課】	これまで以上に積極的なPR活動を展開し、新たな就農者の確保を目指すとともに青年就農給付金、研修による支援をしてまいります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
農地利用権設定面積	農地の流動化推進と集積	ha	413 (H25)	718	487
人・農地プラン策定地区数	人・農地プランにおいて地域ごとの計画を策定する地区	地区	12 (H25)	20	18
直売売上額	直売による売上額	千円	800,000 (H25)	900,000	1,053,567
森林ボランティア数	市内森林の維持管理ボランティア新規登録者数	人	9 (H25)	24	20

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.85	4.11
平成27年度調査	2.73	3.97
平成28年度調査	2.76	3.89

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	02豊かな生活を支える活力ある産業を育むまちへ
基本施策	04観光業の振興
具体的取り組み例	魅力的な観光地（フラワーパークなど）づくり,観光交流による地域活性化

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	石岡市への観光入込客数は、当初の目標を達成できたが、平成26年度に策定した観光振興計画(後期計画)では目標値を150万人と定めており、計画の優先事業に取り組んだ結果、平成27年度実績では1,350,500人であり、計画における入込観光客数は概ね順調です。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	豊かな自然と歴史的資産を活かした観光によるまちづくりの実現のため、観光振興計画に基づき、観光資源の魅力アップと交流人口の拡大を図ります。また、平成28年9月にジオパークが認定されたことを、地域資源の魅力アップに繋げます。

2 主要事業の概要

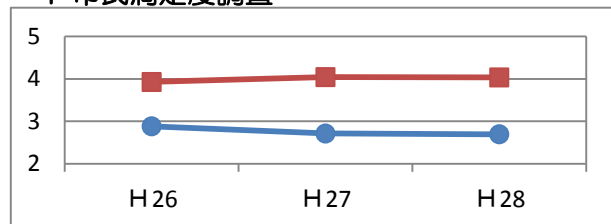
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
観光対策経費【観光課】	地域特性を活かした観光エリアの魅力アップ、周遊できる環境づくり、石岡ブランドの確立とPRに取り組む必要があります。
筑波山地域ジオパーク推進事業【政策企画課】	ジオパーク活動への継続的な取り組みで、理解や協力を得られるようになってきました。ジオツアー等の参加者も徐々に増加し、市民団体の方も協議会のイベント等へ参加していただいています。今後も関係団体への一層の協力や情報提供を行い、地域全体でジオパーク認定に向けた取組を推進していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
入込観光客数	茨城県観光客動態調査による	人	835,400 (H21)	1,250,000	1,350,500

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.88	3.93
平成27年度調査	2.71	4.04
平成28年度調査	2.69	4.03

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1交通安全の推進	B	交通事故による死者数ゼロの継続は途切れたものの、目標値である交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備の効果が上がっているといえます。	交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。
2防犯対策の充実	C	市民満足度の指標は低く、成果指標も達成がされていないことから、安全・安心に生活できる環境整備はまだ十分ではない状況です。	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。
3消費生活の安全確保	B	日々新たな手口や商法が生みだされている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り、増加傾向にある苦情や相談等に対応し、消費者意識の向上を図っています。	市民の消費生活の安定及び向上を目指します。
4省エネの推進・新エネルギー導入促進	B	<p>新庁舎建設事業では、石岡市の気候風土を活かした省エネルギー手法を取り込み、地域に根付く環境配慮型庁舎を計画しています。</p> <p>【太陽熱や地中熱などの”再生可能エネルギー”を利用した外気の予冷システム、二重屋根の温度上昇を利用した建物内の自然換気(温度差換気)、庁舎内に自然光を取り込む(ライトウェル)、雨水の有効活用、夜間に外気を建物内に導入して躯体を冷却し、昼間の空調負荷を低減する(ナイトパーシ)等】</p> <p>一方省エネルギーの推進では、市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減(原油換算)を達成していることから、現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。</p>	<p>新庁舎建設事業では、環境に配慮した庁舎とし、防災拠点としての機能強化や、より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため、新庁舎の建設を進めます。省エネルギーの推進では、省エネ・節電についての意識啓発に取り組み、尚一層の推進を図ります。</p>
5上水道の整備	C	<p>水道事業では、現状の有収率向上の為に漏水調査の取り組みについては若干の効果が認められます。しかし老朽化に伴う更新については財源、人材ともに乏しく十分な更新が出来ているとは言い難い状況です。</p> <p>一方簡易水道事業では、平成28年10月に予定される湖北水道企業団との統合に必要な配水管整備工事は完了しました。現在は湖北水道企業団及び関係各課で統合に向けた事務調整を継続中です。安全な水道水を安定的に供給できる強靱な水道事業を目指します。</p>	<p>水道事業では、安全で安定した水道水を供給するため、又、湖北水道との統合を考慮し、老朽化施設等の効率的な更新を行います。簡易水道事業では、市は統合後も、簡易水道事業区域の安全、安心で安定した水の供給が実施されること及び湖北水道企業団の安定した経営が図られることを配慮する必要があります。</p>

03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6循環型社会の構築	C	<p>環境監視員の活動により不法投棄の早期発見につながっています。</p> <p>1人当たりの年間ごみ排出量については、引き続き排出段階時におけるごみの減量化について周知方法や取り組みを検討していきます。</p>	<p>さらなるごみの減量化やリサイクル推進のため、市民に関心を持ってもらえるよう広報の充実を図っていきます。</p>
7環境保全の推進	B	<p>霞ヶ浦浄化対策経費は、霞ヶ浦の水質環境を保全するため、流入する河川水質等の分析を行い、また公害対策経費は、公害等、問題が発生した時に各種調査・分析を行う等地域の環境を守るための経費です。現状の検査結果等では異常値はないことから環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。一方 身近なみどり整備推進事業では、市民提案を受け、これまでに約52haの整備が実施されています。また、森林の間伐においては、概ね石岡市森林整備計画に沿った整備が進んでいます。</p>	<p>未だ下水道や農業集落排水、合併処理浄化槽設置補助等が整備・導入されていない地域があることから、流入する水質を浄化するため、各地域における啓発活動とともに生活排水を処理できる環境を整える必要があります。石岡市森林整備計画に基づき荒廃した森林の間伐を実施していきます。また、平地林においては、身近なみどり整備推進事業を活用し、市民提案による整備を支援します。</p>
8協働によるまちづくりの推進	B	<p>石岡市協働のまちづくり条例施行後、協働のまちづくり備品貸出などの協働のまちづくり推進事業をすすめる、協働の機運醸成を図っています。</p>	<p>常に協働によるまちづくりを意識し、ひざを交えてパートナー(市民)と話し合いながら、市民活動に参加しやすい環境づくりを進めていきます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	01交通安全の推進
具体的取り組み例	石岡市民の交通安全意識の向上（街頭キャンペーン） 民間交通指導員の設置

1 総括評価

B	評価コメント
	交通事故による死者数ゼロの継続は途切れたものの、目標値である交通事故件数は減少傾向にあり、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備の効果が上がっているといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	交通安全に関する意識向上を引き続き図り、交通事故のない安全なまちを目指します。

2 主要事業の概要

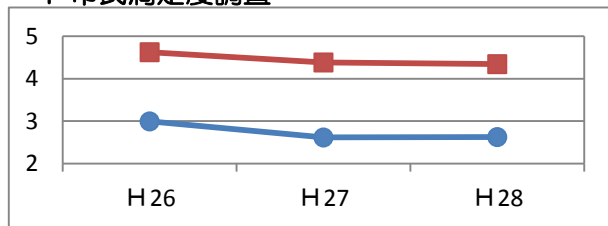
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
交通安全対策経費【まちづくり推進課】	更なる交通安全への意識啓発を進めていきます。
交通安全施設整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、必要性・緊急性の高い箇所から効率的に整備を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
交通事故死者数	石岡市の年間交通事故死者数	人	8 (H22)	0	1
交通事故件数	石岡市の年間交通事故件数	件	300 (H22)	270	267
【参考指標】 民間交通指導員数	民間交通指導員の委嘱人数	人	47 (H22)	50	44

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.99	4.62
平成27年度調査	2.61	4.38
平成28年度調査	2.62	4.34

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	02防犯対策の充実
具体的取り組み例	地域との協働による防犯環境の向上，街路灯・防犯灯の設置，エンゼルパトロールの実施

1 総括評価

C	評価コメント
	市民満足度の指標は低く，成果指標も達成がされていないことから，安全・安心に生活できる環境整備はまだ十分ではない状況です。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	住民全体が力を合わせ犯罪の起きにくい地域環境をつくりだしていきます。

2 主要事業の概要

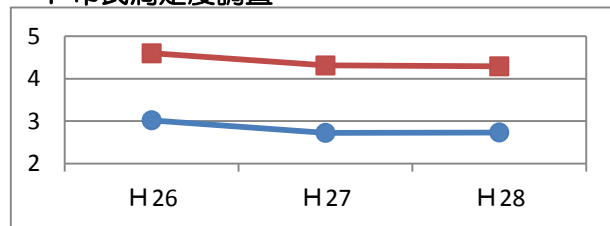
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
安全・安心まちづくり推進事業【まちづくり推進課】	エンゼルパトロール（無償ボランティアによる防犯パトロール）会員の登録者の増加を図ります。
街路灯・防犯灯事業【まちづくり推進課】	必要な場所への防犯灯・街路灯の整備を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
防犯灯設置及び器具等交換灯数	市内の防犯灯設置及び器具等交換灯数	灯	207 (H24)	660	472
エンゼルパトロール登録者数	登録者数	人	986 (H22)	1,000	866
刑法犯罪件数	石岡市の刑法犯の件数	件	983 (H22)	830	950

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.02	4.60
平成27年度調査	2.72	4.31
平成28年度調査	2.73	4.29

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	03消費生活の安全確保
具体的取り組み例	消費生活センターの設置，消費生活に関する苦情・相談の受付対応

1 総括評価

B	評価コメント
	日々新たな手口や商法が生みだされている消費者被害に対応すべく消費生活センターの体制強化を図り、増加傾向にある苦情や相談等に対応し、消費者意識の向上を図っています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市民の消費生活の安定及び向上を目指します。

2 主要事業の概要

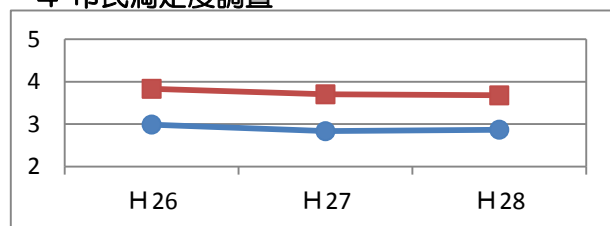
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消費者保護育成事業【まちづくり推進課】	消費者へのバックアップ体制の整ったまちを目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
相談件数	消費者トラブル等相談	件	399(H22)	270	427
出前講座	消費生活に関する出前講座	回	4(H22)	7	5
消費者トラブル発生件数	消費者トラブルの年間発生件数	件	341(H22)	250	387

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.99	3.83
平成27年度調査	2.83	3.70
平成28年度調査	2.87	3.68

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	04省エネの推進・新エネルギー導入促進
具体的取り組み例	省エネキャンペーンの実施，公共施設における自然エネルギーの有効活用

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>新庁舎建設事業では，石岡市の気候風土を活かした省エネルギー手法を取り込み，地域に根付く環境配慮型庁舎を計画しています。</p> <p>【太陽熱や地中熱などの”再生可能エネルギー”を利用した外気の予冷システム，二重屋根の温度上昇を利用した建物内の自然換気(温度差換気)，庁舎内に自然光を取り込む(ライトウェル)，雨水の有効活用，夜間に外気を建物内に導入して躯体を冷却し，昼間の空調負荷を低減する(ナイトバージ)等】</p> <p>一方省エネルギーの推進では，市の施設におけるエネルギー使用量は5年間で5%以上削減(原油換算)を達成していることから，現状の取組体制には一定の効果が認められます。更なる省エネを推進し地球環境に配慮した街づくりを目指していきます。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>新庁舎建設事業では，環境に配慮した庁舎とし，防災拠点としての機能強化や，より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため，新庁舎の建設を進めます。省エネルギーの推進では，省エネ・節電についての意識啓発に取り組み，尚一層の推進を図ります。</p>

2 主要事業の概要

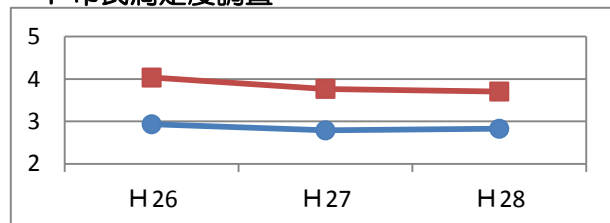
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
新庁舎建設事業【管財課】	本庁舎は，老朽化や，東日本大震災により被災し，現在，5棟の仮設庁舎を建設し，そこで業務を行っています。そのため，防災拠点としての機能を十分に果たせず，また来庁者に不便を来たしていることから，新庁舎の建設を進めます。
省エネルギーの推進・新エネルギーの導入促進【生活環境課】	市の施設においてエネルギー使用の合理化を図り総合的かつ効果的に推進するための協議組織を立ち上げ，エネルギー使用量5年間で5%以上削減(原油換算)を達成しています。しかし，前年度比においてはやや増加している状況でもあるため，引き続き削減目標の達成を継続していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
市の施設のエネルギー使用量	省エネ法に基づくエネルギー使用量5年で5%以上削減(原油換算)	kl	3,590(H21)	3,410(H26)	3,187
市の施設における新エネルギーの導入件数	市の施設における新エネルギーの導入件数	件	1(H23)	2	1
意識啓発活動	環境学習等の実施回数	件	0(H24)	2	1

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.93	4.03
平成27年度調査	2.79	3.77
平成28年度調査	2.83	3.70

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	05上水道の整備
具体的取り組み例	老朽化した配水管の更新や整備，安定供給のための経営の効率化

1 総括評価

C	評価コメント
	<p>水道事業では、現状の有収率向上の為の漏水調査の取り組みについては若干の効果が認められます。しかし老朽化に伴う更新については財源、人材ともに乏しく十分な更新が出来ているとは言い難い状況です。</p> <p>一方簡易水道事業では、平成28年10月に予定される湖北水道企業団との統合に必要な配水管整備工事は完了しました。現在は湖北水道企業団及び関係各課で統合に向けた事務調整を継続中です。安全な水道水を安定的に供給できる強靱な水道事業を目指します。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>水道事業では、安全で安定した水道水を供給するため、又、湖北水道との統合を考慮し、老朽化施設等の効率的な更新を行います。簡易水道事業では、市は統合後も、簡易水道事業区域の安全，安心で安定した水の供給が実施されること及び湖北水道企業団の安定した経営が図られることを配慮する必要があります。</p>

2 主要事業の概要

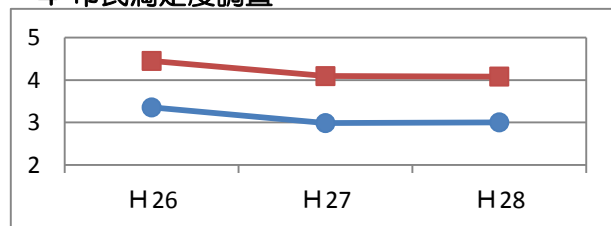
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
水道事業会計（総括）【水道課】	高料金対策及び統合水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に要する経費について、地方公営企業繰出金について、（総務省自治財政局長通知）に基づき繰出すことにより、上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図っています。
簡易水道事業会計（総括）【生活環境課】	三村地区簡易水道の配水施設を、国庫補助金の活用により更新し、湖北水道企業団との統合に向けて整備します。先行して、配水施設の設計、工事の管理監督業務等を水道業務に精通している湖北水道企業団に委託しています。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
有収率	有収水量÷配水量	%	76 (H22)	85	75.89

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.35	4.45
平成27年度調査	2.99	4.09
平成28年度調査	3.00	4.08

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	06循環型社会の構築
具体的取り組み例	ごみの減量化・リサイクルの推進，環境監視委員によるパトロール

1 総括評価

<h1>C</h1>	評価コメント
	環境監視員の活動により不法投棄の早期発見につながっています。 1人当たりの年間ごみ排出量については，引き続き排出段階時におけるごみの減量化について周知方法や取り組みを検討していきます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	さらなるごみの減量化やリサイクル推進のため，市民に関心を持ってもらえるよう広報の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

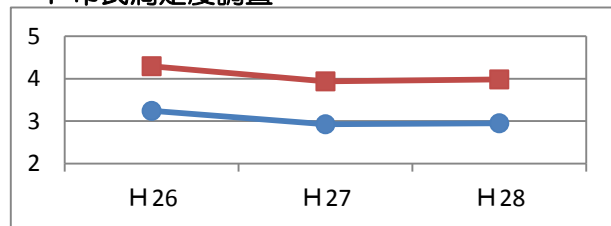
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ごみ減量・資源化推進事業【生活環境課】	集団回収によるごみの減量化やリサイクルを促進するためには，新規の登録団体や実施回数を増やすとともに，広報紙等による周知活動が必要です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
資源化率	年間に排出されるごみ量に占める資源ごみの割合	%	4.16 (H22)	15	17.83
1人当たりの年間ごみ排出量	1人当たりの年間ごみ排出量	kg	323 (H22)	322	346
し尿の年間汲み取り量	年間に汲み取りされる量	kl	2,937 (H22)	2,307	1,855
【参考指標】1日1人当たりのし尿汲み取り量	1日1人当たりのし尿汲み取り量	l	0.12 (H26)	0.11	0.10

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.24	4.29
平成27年度調査	2.93	3.94
平成28年度調査	2.95	3.98

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	07環境保全の推進
具体的取り組み例	霞ヶ浦の水質検査や清掃活動，森林の間伐・整備による里山の保全

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	霞ヶ浦浄化対策経費は、霞ヶ浦の水質環境を保全するため、流入する河川水質等の分析を行い、また公害対策経費は、公害等、問題が発生した時に各種調査・分析を行う等地域の環境を守るための経費です。現状の検査結果等では異常値はないことから環境保全の各種取り組みには一定の効果が認められます。一方、身近なみどり整備推進事業では、市民提案を受け、これまでに約52haの整備が実施されています。また、森林の間伐においては、概ね石岡市森林整備計画に沿った整備が進んでいます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	未だ下水道や農業集落排水，合併処理浄化槽設置補助等が整備・導入されていない地域があることから、流入する水質を浄化するため、各地域における啓発活動とともに生活排水を処理できる環境を整える必要があります。石岡市森林整備計画に基づき荒廃した森林の間伐を実施していきます。また、平地林においては、身近なみどり整備推進事業を活用し、市民提案による整備を支援します。

2 主要事業の概要

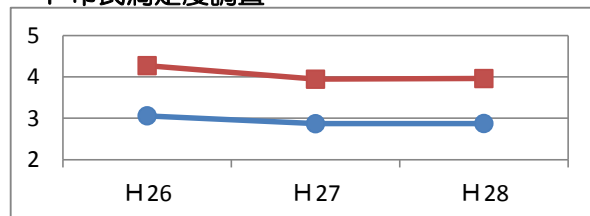
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
霞ヶ浦浄化対策経費【生活環境課】	工場への立入検査や河川・池沼等の水質の常時監視を継続して実施しています。基準値超過箇所については改善要望や注意喚起などを行うことにより、公害防止と快適な生活環境の保全に寄与しています。今後も引き続き市民の健康の保護と生活環境の保全に努めるため、必要な調査を行い、調査の結果に基づき適切な指導を実施していきます。
霞ヶ浦浄化対策経費【下水道課】	国、県に本事業の維持及び拡大を要望し、本事業の推進に努めます。
公害対策経費【生活環境課】	不法投棄された箇所等の水質調査を行い安全を確認しているものの、この分析をいつまで継続するか明確な基準がないため検討をしていくことが必要です。自動車騒音監視業務においては、評価対象路線においては環境基準を満たしていますが、引き続き評価を実施していくことが必要です。
身近なみどり整備推進事業【農政課】	生活圏に近い荒廃した森林を整備することで、安全な地域環境を創出していきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
霞ヶ浦(西浦)のCOD	霞ヶ浦(西浦)におけるCODの年平均値(湖沼水質保全計画6期)	mg/l	8.7 (H22)	7	7.8
公害苦情受理件数	大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭等に関する年間苦情件数	件	18 (H22)	15	13
里山整備箇所数	里山事業を取り入れた整備を実施する箇所数	箇所	0	2	0
水洗化普及率(合併処理浄化槽)	水洗化済人口/処理区域人口	%	18.4 (H24)	20.5	20.4

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.06	4.27
平成27年度調査	2.87	3.94
平成28年度調査	2.87	3.96

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	03人と自然が調和し生活環境が充実したまちへ
基本施策	08協働によるまちづくりの推進
具体的取り組み例	協働のまちづくり条例の推進，まちづくりについての情報発信

1 総括評価

B	評価コメント
	石岡市協働のまちづくり条例施行後，協働のまちづくり備品貸出などの協働のまちづくり推進事業をすすめ，協働の機運醸成を図っています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	常に協働によるまちづくりを意識し，ひざを交えてパートナー(市民)と話し合いながら，市民活動に参加しやすい環境づくりを進めていきます。

2 主要事業の概要

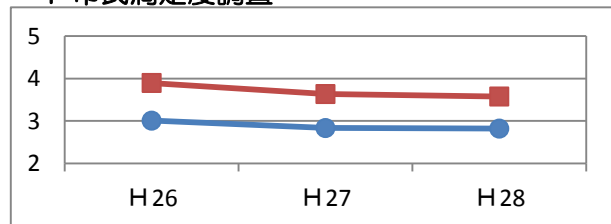
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
協働まちづくり推進事業【まちづくり協働課】	「石岡市協働のまちづくり条例」に示された協働の理念により，現在市民と協力し，行われている事業を分析し，その事業の発展向上を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
協働活動事例の周知	「協働」の取り組み事例を広報誌・HPへの掲載事例数	事例	3	10	9

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.01	3.89
平成27年度調査	2.83	3.63
平成28年度調査	2.82	3.58

04災害に強く安心して暮らせるまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1消防・救急体制の充実	B	<p>市民の生命・身体の保全を図るため、救急資機材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行してきました。救急医療体制の高度化に伴い、専門技能を有する救命士の育成を図りました。応急手当の普及啓発活動（救急講習会）を実施し、バイスタンダーを育成して救命率の向上を目指しました。</p>	<p>市民の安全・安心を確保するためには、救急資機材の継続的な整備、応急手当の普及啓発、また、消防士・救急隊員の育成が必要です。</p>
2防災機能の整備・強化	B	<p>平成27年度より、市内全域で防災行政無線の運用を開始し、市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また、備蓄品についても、り災者の3食3日分を想定した18,000食を備蓄しており、今後も適正な管理を継続していきます。</p>	<p>今後も継続して適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めていきます。また、被災された方の福祉及び生活の安定を目指します。</p>
3防災体制の充実	B	<p>防災マップやハザードマップを使用し、危険区域における安全な避難ルートや避難所等を、市民に周知することで、災害時のスムーズな避難体制づくりを実施してきました。また、災害時に市民が必要とする業務の継続、早期の復旧が可能となるよう、業務継続計画（BCP）を策定し運用しています。</p>	<p>災害時に、市内全域で自助・共助・公助が効率的に行える体制づくりを今後も継続して実施していきます。</p>
4地域防災力の向上	A	<p>行政と市民が防災に関する情報を共有し、自主防災組織の設立促進や総合防災訓練や地域防災訓練を通して地域防災力の向上を実施してきました。また、住宅用火災警報器の設置を促進することで、市民の防火意識の向上を図り、安全確保に努めてきました。</p>	<p>自主防災組織率が、県平均を上回るよう、積極的に推進するとともに、防災訓練への参加を促進し、地域防災力の向上に努めます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	01 消防・救急体制の充実
具体的取り組み例	救急講習会の開催，消防士・救急救命士の技能向上

1 総括評価

B	評価コメント
	市民の生命・身体の保全を図るため、救急資機材の整備を徹底し救急業務を円滑に遂行してきました。救急医療体制の高度化に伴い、専門技能を有する救命士の育成を図りました。応急手当の普及啓発活動（救急講習会）を実施し、バイスタンダーを育成して救命率の向上を目指しました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市民の安全・安心を確保するためには、救急資機材の継続的な整備、応急手当の普及啓発、また、消防士・救急隊員の育成が必要です。

2 主要事業の概要

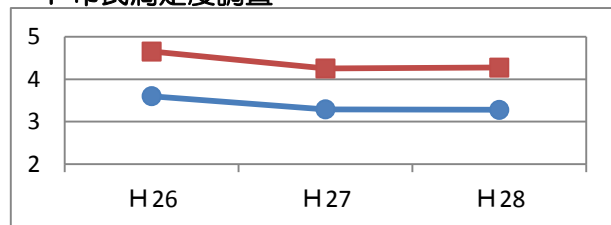
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
消防機械整備事業（補助）【総務課（消防）】	更新計画に沿って継続的に実施していく必要があります。
消防機械整備事業（単独）【総務課（消防）】	更新計画に沿って継続的に実施していく必要があります。
救急活動経費【警防課（消防）】	救急車の資機材は定期的な点検が必要で、期限が定められている物は更新時に多額の経費を要します。救急講習会は継続して実施していくことが重要であり、使用頻度が高い資機材を更新していく必要があります。
茨城消防救急無線・指令センター共同整備事業【警防課（消防）】	茨城消防救急デジタル無線および高機能消防指令センター整備工事計画に基づき進められました。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
救命率	家族等に応急手当を実施された傷病者の1カ月後生存率	%	5.3 (H24)	5.4	10.3
消防救急無線デジタル化事業	消防救急無線デジタル化及び指令センターの共同整備、共同運用を行う。	台	0	20	20

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.60	4.65
平成27年度調査	3.29	4.25
平成28年度調査	3.28	4.27

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	02防災機能の整備・強化
具体的取り組み例	防災無線の積極的な運用，避難所の防災倉庫や備蓄品の適正な管理

1 総括評価

B	評価コメント
	平成27年度より，市内全域で防災行政無線の運用を開始し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。また，備蓄品についても，り災者の3食3日分を想定した18,000食を備蓄しており，今後も適正な管理を継続していきます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	今後も継続して適正な運用管理を図るとともに新たな情報伝達手段についても調査・研究を進めていきます。また，被災された方の福祉及び生活の安定を目指します。

2 主要事業の概要

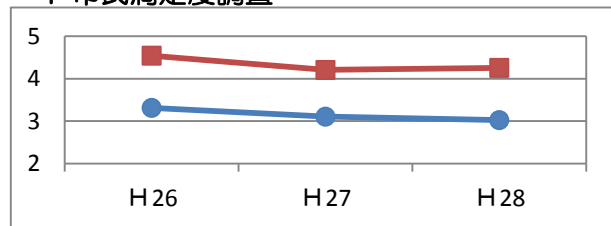
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
防災行政無線管理運用経費【防災対策課】	市内全域で防災行政無線の運用を開始し，市民が必要とする災害情報等を迅速かつ正確に伝達しています。今後も継続して適正な運用を図ります。
地震災害支援経費【社会福祉課】	災害によって被害を受けた市民に対して応急援護を図る見舞金支給事業であり，被災者の経済的な不安を和らげることができるようにしていきます。
防災対策経費【総務課（支所）】	防災行政無線（ぼうさいやさと）により，市民が必要とする情報等を一斉に伝達しています。今後はアナログからデジタル化へ移行していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
防災行政無線の整備	防災行政無線の伝達範囲を市内全域とする（石岡地区・八郷地区）	地区	1 (H25)	2	2
災害援護資金貸付件数	東日本大震災の被災世帯への貸付延べ件数	世帯	9 (H25)	10	0
急傾斜地崩壊対策整備延長	急傾斜地崩壊対策事業による整備延長	m	271 (H25)	372	299

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.31	4.54
平成27年度調査	3.10	4.20
平成28年度調査	3.02	4.25

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	03防災体制の充実
具体的取り組み例	ハザードマップの配布，業務継続計画（BCP）の運用

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	防災マップやハザードマップを使用し，危険区域における安全な避難ルートや避難所等を，市民に周知することで，災害時のスムーズな避難体制づくりを実施してきました。また，災害時に市民が必要とする業務の継続，早期の復旧が可能となるよう，業務継続計画（BCP）を策定し運用しています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	災害時に，市内全域で自助・共助・公助が効率的に行える体制づくりを今後も継続して実施していきます。

2 主要事業の概要

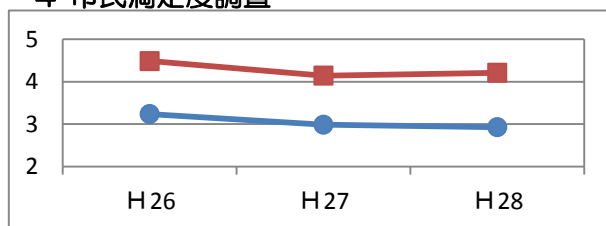
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
防災対策経費【防災対策課】	防災備蓄品については，消費期限等を考慮し，防災意識の啓発や教育等に有効活用しています。また，訓練や研修等も継続的に実施していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
防災情報の共有化	広報誌や防災講演会等による情報共有	回	12 (H25)	15	26
災害時優先業務の早期復旧	業務継続計画の策定	式	—	1	1

4 市民満足度調査




	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.24	4.48
平成27年度調査	2.99	4.14
平成28年度調査	2.93	4.21

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	04災害に強く安心して暮らせるまちへ
基本施策	04地域防災力の向上
具体的取り組み例	自主防災組織への支援、火災予防運動や危険物安全週間を通じた周知活動

1 総括評価

	評価コメント
	行政と市民が防災に関する情報を共有し、自主防災組織の設立促進や総合防災訓練や地域防災訓練を通して地域防災力の向上を実施してきました。また、住宅用火災警報器の設置を促進することで、市民の防火意識の向上を図り、安全確保に努めてきました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	自主防災組織率が、県平均を上回るよう、積極的に推進するとともに、防災訓練への参加を促進し、地域防災力の向上に努めます。

2 主要事業の概要

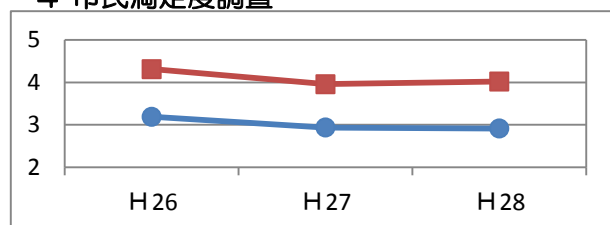
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
火災予防経費【予防課（消防）】	市民の目線で広報活動を実施し、未設置者に理解を得る必要があります。
総合防災訓練経費【防災対策課】	職員の災害対応力の向上を目指すことや、地域防災訓練等により地域防災力の向上を図ります。また、防災関係機関等と連携した総合的な訓練を定期的に行っていきます。
自主防災組織活性化事業【防災対策課】	地域での防災研修会などに積極的に参加し、自主防災組織の設立促進を図るとともに、様々な事業を通して自主防災組織の活性化を図っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
地域防災訓練の実施	地域住民が中心となった防災訓練への参加人数（単年度）	人	60 (H24)	300	1191
自主防災組織の設立促進	自主防災組織の設立組織数	組織	126 (H23)	150	154
自主防災組織の活性化	防災研修会等（単年度）	回	1 (H24)	2	2
住宅用火災警報器の設置	総務省消防庁発表の設置率茨城県の推計値	%	60 (H24)	64	69
【参考指標】 自主防災組織率	【県】平成27年4月1日現在 【市】平成28年4月1日現在		【茨城県】76.6% 【石岡市】68.9%		

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.19	4.31
平成27年度調査	2.94	3.96
平成28年度調査	2.91	4.02

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1健康づくりの推進	B	<p>本事業は、いしおかふるさと再生プランの基本施策47施策において、その重要度は毎年高い状況にあるなかで、市民満足度調査において、昨年が1位、今年が2位と毎年上位にランクされており、参考指標に示すように若年層の健康診断の受診者数・3歳児健康診査の受診率などで向上している状況にあり、市民の健康づくりについて総合的に概ね順調となっております。</p>	<p>「いしおか健康応援プラン」に基づいて、今後とも健康づくりに関して普及・啓発を徹底し、事業を推進していきます。</p>
2地域医療の充実	A	<p>市民の生命と健康のため、初期救急及び第二次救急医療の運営は順調に実施しています。</p>	<p>市民へのセーフティネットの提供のために、継続して実施します。</p>
3子育て環境の充実	B	<p>児童手当，児童扶養手当，保育等の法に定められた事業については，適正に行っております。 また，子育て支援事業等市が独自で行っている事業について，家賃助成については年々増加傾向にあり，目的である定住促進の役割を果たしています。 また，平成27年度から実施している「おむつ無料クーポン券配布」については，子育てに係る費用の経済的支援に貢献していくことが期待できます。</p>	<p>幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。また，子育てに係る費用の経済的支援をすることにより，子育てしやすい環境を整え，少子化を抑制することを目指します。 児童クラブ運営に対して，学校との連携の強化を進めるとともに，児童クラブにおける保育内容の充実と指導員の指導力向上を目指します。</p>
4高齢者福祉や介護予防の充実	B	<p>高齢者の増加に伴い，高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しており，要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では，第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき，各種施策や事業が適正な水準で実施されています。</p>	<p>高齢者が生きがいをもって現役で過ごせるよう社会参加活動を進めるとともに，介護予防事業による高齢者の自立支援を促進し，関係機関との連携のもとで，高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。</p>

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
5障がい者福祉の充実	B	<p>障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。</p>	<p>障がい者各人の障がい（特徴）を認識し、地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。</p>
6地域福祉の充実	B	<p>災害時要援護者台帳登録者の地域支援者を確保することが課題ですが、台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら支援者の確保を進めていきます。</p>	<p>支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう、行政、地域住民、民生委員児童委員、社会福祉協議会などが連携し支援をしていきます。</p>
7生活困窮者等の自立支援	B	<p>生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ288回の就労自立に向けた面接等の対応を行っています。</p>	<p>相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。</p>
8社会保障制度の安定した運営	B	<p>国民健康保険事業では、ウォーキング大会等の生活習慣予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では成果指標の年度目標には達していませんが、特定健康診査等の受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。 介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。 また、後期高齢者医療制度、医療福祉制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られました。</p>	<p>関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	01健康づくりの推進
具体的取り組み例	予防接種への助成，妊婦や乳幼児健診の実施

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	本事業は、いしおかふるさと再生プランの基本施策47施策において、その重要度は毎年高い状況にあるなかで、市民満足度調査において、昨年第1位、今年が2位と毎年上位にランクされており、参考指標に示すように若年層の健康診断の受診者数・3歳児健康診査の受診率などで向上している状況にあり、市民の健康づくりについて総合的に概ね順調となっております。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	「いしおか健康応援プラン」に基づいて、今後とも健康づくりに関して普及・啓発を徹底し、事業を推進していきます。

2 主要事業の概要

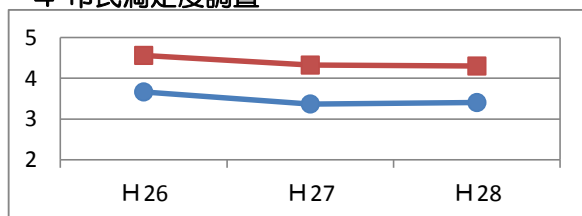
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
成人保健事業【保険年金課】	人間ドック等の受診者数は98人で、昨年と比較しほぼ横ばいでした。平成28年度より委託医療機関を増やしました。今後も定期的な受診の推進と補助制度の周知に努め、市民が健康で安心した生活を送れるよう寄与します。
成人保健事業【健康増進課】	各種検診を受けやすい検診体制を整えると同時に、健康教育、健康相談、訪問指導等を通じ生活習慣病予防や健康づくりを推進します。
予防接種事業【健康増進課】	定期予防接種について、安全に正しく実施していきます。任意予防接種について、接種費用の助成を行います。
健康づくり推進事業【健康増進課】	市民の健康状態を踏まえた事業を実施しました。今後さらに内容を検討するとともに、食生活改善事業を広く周知し、より多くの参加者を募ります。
母子保健事業【健康増進課】	平成29年度に設置される「子育て世代包括支援センター」開設にむけて、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を検討する必要があります。また、より安心して子育てができる地域にするために、事業の振り返りを行う必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
乳児家庭訪問の実施率	4か月までの乳児のいる家庭への全戸家庭訪問	%	99.0(H24)	99.5	96.1
自分の健康に関心のある女性	市の行なう子宮・乳がん検診を受診した女性の人数	人	4,219(H24)	4,500	4,107
人間ドック補助件数	人間ドック・脳ドック・基本健診有脳ドックの補助件数	件	76(H24)	100	98
健康づくりに関心のある市民	食生活改善推進員として健康づくりに関心をもち活動する人数	人	124(H23)	130	121
【参考指標】 若年層の健康診断受診者数	18歳から39歳までの健康診断の受診者数	人	196(H25)	—	292
【参考指標】 3歳児健康診査受診率	3歳児の健康診査受診率	%	89.7(H25)	—	93.4

4 市民満足度調査




	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.67	4.56
平成27年度調査	3.37	4.32
平成28年度調査	3.41	4.30

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	02地域医療の充実
具体的取り組み例	休日・夜間の診療体制の確立，第二次救急診療の当番病院への運営補助

1 総括評価

	評価コメント
	市民の生命と健康のため、初期救急及び第二次救急医療の運営は順調に実施しています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市民へのセーフティネットの提供のために、継続して実施します。

2 主要事業の概要

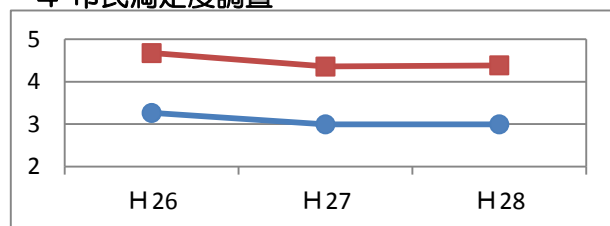
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保健衛生一般事務費【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために、継続して実施します。
診療業務費【健康増進課】	市民へのセーフティネットの提供のために、継続して実施します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
緊急診療・在宅当番医開設率	緊急診療等の開設予定日に対する実施率	%	100.0(H22)	100	100
第二次救急医療病院群輪番制診療実施率	診療予定日における診療実施率	%	100.0(H22)	100	100

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.26	4.67
平成27年度調査	2.99	4.36
平成28年度調査	2.99	4.38

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	03子育て環境の充実
具体的取り組み例	地域子育て支援センターの設置，児童クラブの運営

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	<p>児童手当，児童扶養手当，保育等の法に定められた事業については，適正に行っております。</p> <p>また，子育て支援事業等市が独自で行っている事業について，家賃助成については年々増加傾向にあり，目的である定住促進の役割を果たしています。また，平成27年度から実施している「おむつ無料クーポン券配布」については，子育てに係る費用の経済的支援に貢献していくことが期待できます。</p>
<p>A 順調</p> <p>B 概ね順調</p> <p>C 改善が必要</p> <p>D 見直しが必要</p>	今後の方向性
	<p>幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより，子どもを産み，育てやすい環境作りを進めます。また，子育てに係る費用の経済的支援をすることにより，子育てしやすい環境を整え，少子化を抑制することを目指します。</p> <p>児童クラブ運営に対して，学校との連携の強化を進めるとともに，児童クラブにおける保育内容の充実と指導員の指導力向上を目指します。</p>

2 主要事業の概要

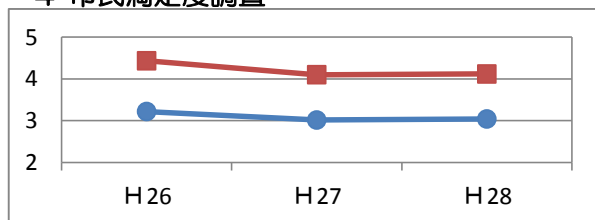
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保育等運営経費【こども福祉課】	子ども・子育て支援法第19条に規定する支給認定を受け，特定教育・保育施設を利用する児童のための教育・保育給付について，国の公定価格に基づき算出し，民間保育所へは委託料として，民間幼稚園・認定こども園へは施設型給付費として支払っていきます。
保育支援関係経費【こども福祉課】	子育て支援の効果を上げるには，民間保育所への補助は重要であるが，今後も事業を継続するには，保育事業の内容に応じて補助事業の在り方を検討していく必要があります。
児童手当経費【こども福祉課】	制度内容・申請期限の周知など手続きに関する通知等を引き続き丁寧に行います。現況届未提出者の削減に努めます。
児童扶養手当経費【こども福祉課】	制度内容・申請期限の周知など手続きに関する通知等を引き続き丁寧に行います。現況届未提出者の削減に努めます。
子育て支援事業【こども福祉課】	家賃助成については増加傾向にあり，定住促進の役割を果たしています。赤ちゃんの駅の設定に関しては，設置主体への補助事業として検討し，地域社会が主体的に子育てに関わることで事業を継続します。
放課後児童対策事業【生涯学習課】	公設児童クラブ運営の効率化，支援員の資質向上と確保に努めるとともに，民間学童保育事業者の参入を促すため公設児童クラブの指定管理者制度の導入等を検討していきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
地域子育て支援センター利用者数	年間の延べ利用者数	人	13,563(H22)	17,000	30,939
待機児童数	入所資格を有するも，市内の保育所に入所ができない児童数	人	0(H22)	0	0
児童クラブ利用者数	学童保育を利用する児童数	人	549(H22)	700	626

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.22	4.43
平成27年度調査	3.02	4.10
平成28年度調査	3.04	4.12

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	04高齢者福祉や介護予防の充実
具体的取り組み例	介護予防活動普及のための人材育成，生涯現役で活躍できる環境づくり

1 総括評価

B	評価コメント
	高齢者の増加に伴い，高齢者世帯や一人暮らし高齢者世帯が増加しており，要支援者及び要介護サービス利用者数は増加傾向にあります。介護保険事業では，第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき，各種施策や事業が適正な水準で実施されています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	高齢者が生きがいをもって現役で過ごせるよう社会参加活動を進めるとともに，介護予防事業による高齢者の自立支援を促進し，関係機関との連携のもとで，高齢者が安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。

2 主要事業の概要

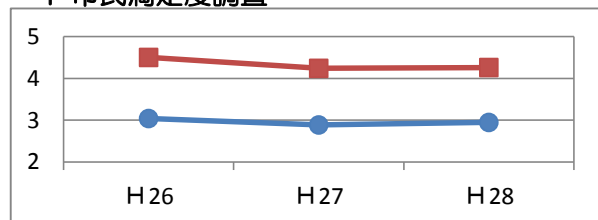
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
在宅老人サービス事業【高齢福祉課】	今後も高齢者が自立した生活を維持できるよう継続的に事業の実施を行います。
介護保険事業（総括）【高齢福祉課】	平成29年度までは現在の第6期計画に基づき，事業を実施します。平成29年度に第7期計画策定のための作業を行い，平成30年度から第7期計画に移行します。
介護サービス事業会計（総括）【高齢福祉課】	国は社会保障制度と税の一体改革を進めており，「認知症施策」，「在宅医療・介護連携の推進」等，介護サービスの効率化及び重点化を図りつつ，必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改正に合わせ，事業の展開を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
要支援・要介護認定者率	65歳以上の高齢者に占める要支援・要介護認定者の割合	%	16.27 (H24)	16.32	16.17
施設入所率	65歳以上の高齢者に占める施設入所者の割合	%	3.6 (H24)	3.8	3.5
ケアマネジメント数	要支援1・2等のケアプラン作成件数	件	3,394 (H22)	3,842	4,395
シルバーリハビリ体操指導士養成数	シルバーリハビリ体操指導士3級養成延数	人	0 (H22)	100	75

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.04	4.50
平成27年度調査	2.88	4.24
平成28年度調査	2.95	4.26

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	05障がい者福祉の充実
具体的取り組み例	障害福祉サービス費の給付，補装具の支給，地域活動支援センターの運営

1 総括評価

B	評価コメント
	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより障害者の自立や社会参加等の推進が図られています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	障がい者各人の障がい（特徴）を認識し，地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

2 主要事業の概要

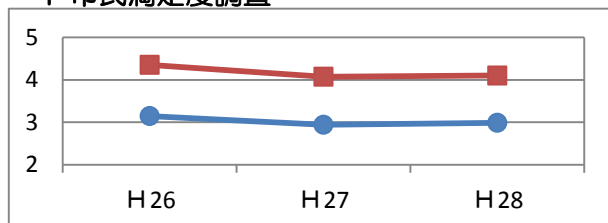
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
障害者自立支援給付事業【社会福祉課】	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付，補装具費の支給等により障害者を支え，障害者の自立や社会参加等の推進が図られるため，適切であると考えられます。
障害者地域生活支援事業【社会福祉課】	地域で生活する障害者のニーズを踏まえ，地域の実情に応じた事業を実施し，障害者の自立を支援していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
障害者就労施設への物品等発注	市や市の委託事業等で物品等を発注した障害者就労施設の数	施設数	4 (H25)	6	5
障がい者と健常者の交流	障がい者スポーツ大会へのボランティア参加者数	人	67 (H25)	90	56

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.15	4.35
平成27年度調査	2.94	4.07
平成28年度調査	2.99	4.10

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	06地域福祉の充実
具体的取り組み例	地域住民や専門家等による支援体制の整備，支援が必要な一人暮らし世帯の見守り活動

1 総括評価

B	評価コメント
	災害時要援護者台帳登録者の地域支援者を確保することが課題ですが、台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら支援者の確保を進めていきます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう、行政、地域住民、民生委員児童委員、社会福祉協議会などが連携し支援をしていきます。

2 主要事業の概要

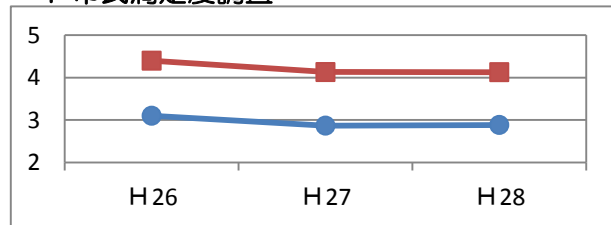
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
民生委員等経費【社会福祉課】	民生委員児童委員が地域と行政のパイプ役となり、また地域支えあいとなることで高齢者、障害者、児童、その他援助を必要とする人が地域で自立した生活を営めるようにしていきます。
介護保険事業（総括）【高齢福祉課】	国は社会保障制度と税の一体改革を進めており、「認知症施策」、「在宅医療・介護連携の推進」等、介護サービスの効率化及び重点化を図りつつ、必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改正に合わせ、事業の展開を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
災害時要援護者に対する近隣支援者数	災害時要援護者台帳に登録された近隣支援者の確保割合	%	52.8 (H25)	80	44.3
地域ケアシステムチーム数	年度内の在宅ケアチーム数	チーム	184 (H22)	180	163

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.10	4.40
平成27年度調査	2.87	4.13
平成28年度調査	2.88	4.13

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	07生活困窮者等の自立支援
具体的取り組み例	生活困窮者の求職支援、ハローワークと連携した就労支援

1 総括評価

B	評価コメント
	生活保護申請受理とともに、各種助言や関係機関への紹介などにより、目標達成に向けて概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う嘱託員を配置し、年間延べ288回の就労自立に向けた面接等の対応を行っています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

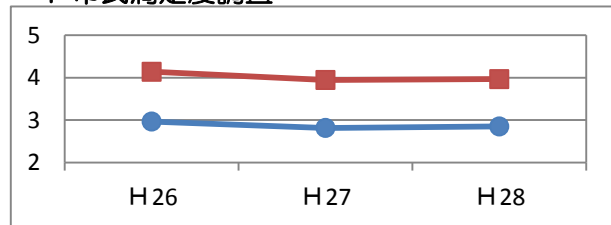
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生活保護適正実施推進事業【社会福祉課】	国のセーフティネット支援対策事業に基づき運用していきます。
生活保護費【社会福祉課】	今後も生活保護法に基づいた事業運営を行っていきます。
自立支援プログラム推進事業【社会福祉課】	就労を支援する専門員を活用することで、求職活動の支援を行い自立を促していきます。
生活困窮者自立支援事業【社会福祉課】	平成27年度からの新規事業であるため、広報等に努め、相談件数や支援件数が増えるよう取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
就労による自立世帯数	就労した世帯のうち、増収に伴い生活保護から自立した世帯の割合	%	26 (H24)	30	26
生活保護廃止世帯のうち自立した世帯数	生活保護が廃止された世帯のうち自立により廃止された世帯の割合	%	38 (H24)	40	42

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.97	4.14
平成27年度調査	2.82	3.95
平成28年度調査	2.85	3.97

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	08社会保障制度の安定した運営
具体的取り組み例	ウォーキング大会の実施などによる生活習慣病予防活動、介護サービスの実施

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>国民健康保険事業では、ウォーキング大会等の生活習慣予防活動を実施しました。特定健康診査や特定保健指導では成果指標の年度目標には達していませんが、特定健康診査等の受診率は前年度を上回ったことや国民健康保険税の収納率の向上がみられました。</p> <p>介護保険事業では、第6期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。</p> <p>また、後期高齢者医療制度、医療福祉制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られました。</p>
<p>A 順調</p> <p>B 概ね順調</p> <p>C 改善が必要</p> <p>D 見直しが必要</p>	今後の方向性
	関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。

2 主要事業の概要

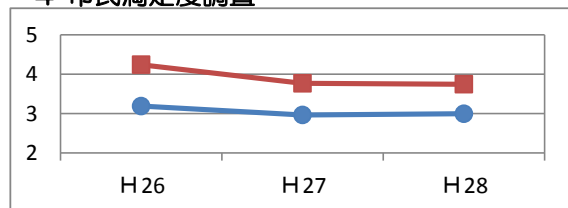
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国民健康保険会計（総括）【保険年金課】	平成30年度から都道府県が市町村とともに国保の運営を担います。都道府県は財政運営の主体となり、国民健康保険制度の安定化を図り、市町村は、地域住民と身近な関係の中、地域におけるきめ細かい事業を行います。
後期高齢者医療会計（総括）【保険年金課】	運営主体である茨城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、市の担当事務を適正に進めます。特に徴収事務については公平公正な保険料の徴収に努め、引き続き徴収率の向上を目指します。
医療福祉一般事務費【保険年金課】	今後も制度改正に留意し、条例等に基づき事業を適正に実施していきます。
医療福祉市単独事業【保険年金課】	県制度の改正も関与してくるため、制度改正等に留意し、条例等に基づき事業を適切に実施していきます。
介護保険会計（総括）【高齢福祉課】	国は社会保障制度と税の一体改革を進めており、介護サービスの効率化及び重点化を図りつつ、必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改正に合わせ、事業の展開を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	評価の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
国民健康保険税収納率・ (一般被保険者分)	国民健康保険税収納額／国民健康保険税調定額	%	87.3 (H22)	89	90.94
特定健康診査実施率	特定健康診査受診者数／特定健康診査受診対象者数	%	30.2 (H22)	60	35.1 (H26)
特定保健指導指導率	特定保健指導実施者／特定保健指導対象者数	%	21.3 (H24)	60	39.1 (H26)
介護（介護予防）サービス利用者数	居宅介護・地域密着型・施設サービス利用者数	人	30,196 (H22)	35,100	36,874

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.19	4.25
平成27年度調査	2.97	3.77
平成28年度調査	3.00	3.75

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
01創意ある学校教育の推進	B	<p>目標値に達していない指標もあるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地元産の食材の使用率が向上しました。</p>	<p>学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を生かした学校づくりを推進します。</p>
2学校施設の整備・充実	B	<p>校舎の耐震化及び普通教室への空調整備は全て完了し、安全で快適に学べる環境づくりが達成されました。</p>	<p>小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで、児童生徒のより良い学習環境や生活環境、人間関係の構築を目指し、望ましい教育環境の整ったまちを目指します。</p>
3生涯学習の推進	B	<p>生涯学習情報の収集や提供を行い、生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や、知識・経験ともに豊富な地域の人材を大いに活用し、社会還元型の生涯学習を進めます。</p>	<p>市民が生涯いきいきとした生活を送れるための事業を実施するとともに、幅広い年齢層への広報活動を促進します。</p>
4生涯スポーツの推進	B	<p>天候の影響による体育施設利用人数の減少、スポーツ種目の増加・多様化等による体育協会加盟登録人数の減少、少子化の影響によるスポーツ少年団登録人数の減少により成果指標の目標値の達成はできませんでした。つくばねマラソンやサイクリング大会等のイベント並びにプール利用者については、参加者が前年より増加し、スポーツに親しむ環境の提供ができたとともに健康増進の効果が認められる。今後は、目標の達成や市民満足度の向上に向け検討が必要です。</p>	<p>少子高齢化や多種多様なニーズに応えられるよう、施設の維持管理や環境整備を行います。</p>
5文化・芸術の推進	B	<p>各事業は、事務事業の内容により計画的に取り組みを進めています。市民会館やイベント広場は、施設の特性に応じた活用が図られており、地域の文化振興や催事の拠点となっていることが、「成果指標」からも分かります。また、「加盟団体数」は目標値を超えており、文化芸術団体に対する支援や助成に一定の効果があると認められます。市美術展の来場者数については、文化芸術団体と連携することで、活動に取り組む人と活動に興味を持つ人との交流の場が創出されて、文化芸術活動の活性化を図ることができると考えます。</p>	<p>市民会館は老朽化が進行していますが、施設の適正な管理・維持に努めながら、地域の文化芸術振興の拠点として多様な世代が参加できる事業を展開していきます。また、市民が親しみやすい文化芸術活動を展開し、文化芸術に親しみ創る人と観る人が交流できる創造性豊かな地域文化の向上を目指します。</p>

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6青少年の健全育成	B	<p>青少年の健全育成に関する各種事業を実施するとともに、市民の理解を得られるよう広報活動に取り組み、地域での青少年育成活動を推進しています。</p> <p>子ども会事業の実施および子ども会指導者等の育成事業を行い、石岡市全体の明るく健やかな子どもの育成を推進しています。</p>	<p>共働きの増加等により、執行役員として活動出来る人材が減っています。事業内容、組織体系等のありかたを検討する必要があります。</p>
7歴史・文化財の保護・活用	C	<p>発掘調査経費、文化財保護保存及び普及経費の事務事業については、各種事業を計画的に進めてきましたが、事務の一部不適切な処理がありました。今後、事務処理上の重要な事項に関して、関係法令等に則り適正な執行を心がけていきます。事務事業の成果として、平成28年度当初の指定文化財及び国登録文化財の件数は、143件となっており目標値を達成している状況です。平成27年度からは定期的に「ふるさと歴史館企画展」を開催しており、昨年度7回の企画展を開催してきた中で、アンケート結果からリピーターがいることが分かり企画展について一定の成果が認められます。さらに、企画展とは別に毎年「文化財発掘調査報告会」を開催することで、市民の文化財や歴史遺産に対する関心を高めるよう努めます。</p>	<p>個々の文化財の特性に応じた活用を進めていきます。また、常陸国衙跡のAR化を進めるなど、中心市街地の看板建築等や市内の貴重な文化財を保存・活用することで、歴史に親しめる環境を目指します。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	01創意ある学校教育の推進
具体的取り組み例	特別講師による多種多様な学習活動の推進，地元産の食材を活用した学校給食の実施

1 総括評価

B	評価コメント
	目標値に達していない指標もあるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地元産の食材の使用率が向上しました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を生かした学校づくりを推進します。

2 主要事業の概要

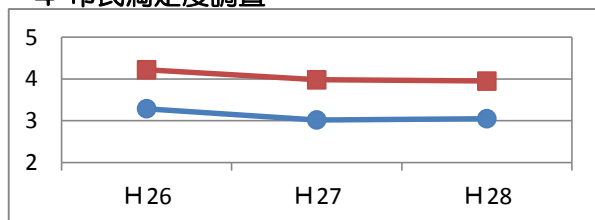
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
語学指導事業【教育総務課】	国際社会の中で、国際語としての英語の能力向上を目指し、また英語教育環境の充実を図るためにも継続的に実施していきます。
小中学校校務用コンピュータ整備事業【教育総務課】	当初の目標である整備は達成しています。今後はハードウェアの整備にあわせ、ソフトウェアの統一的な導入を検討する必要があります。
学校いきいきプラン推進事業（小学校）【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されています。今後は、より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要です。
学校いきいきプラン推進事業（中学校）【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されています。今後は、より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要です。
八郷給食センター調理業務経費【学校給食課】	石岡市産の食材使用率のさらなる向上を図り、郷土愛の醸成を図ります。
石岡給食センター調理業務経費【学校給食課】	石岡市産の食材使用率のさらなる向上を図り、郷土愛の醸成を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
いきいきプラン年間事業件数	年間いきいきプラン開催数	回	235 (H25)	290	228
英語に興味を持つ児童数の割合（小学校）	英語でもっと会話をしたいと思う児童数の割合	%	89.8 (H25)	95	90.1
英会話県南地区予選最終選考進出生徒数（中学校）	インタラクティブフォーラム地区予選最終選考に進出した生徒数	人	2 (H25)	4	0
地場産物の活用	第2次茨城県食育推進計画目標値35%（H27年度）	%	32.0 (H24)	47.0	55.0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要性 (■で表記)
平成26年度調査	3.29	4.22
平成27年度調査	3.02	3.98
平成28年度調査	3.05	3.95

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	02学校施設の整備・充実
具体的取り組み例	学校施設の改修工事や耐震化，小中学校への空調設備の導入

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	校舎の耐震化及び普通教室への空調整備は全て完了し，安全で快適に学べる環境づくりが達成されました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで，児童生徒のより良い学習環境や生活環境，人間関係の構築を目指し，望ましい教育環境の整ったまちを目指します。

2 主要事業の概要

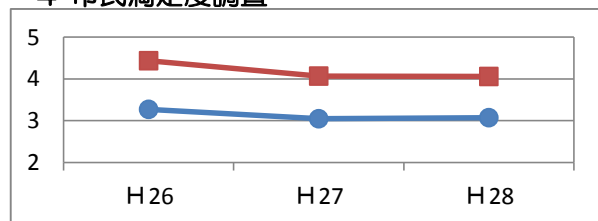
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
学校管理運営経費（小学校）【教育総務課】	限られた予算内で，事業の目的を達成することができました。今後も継続する必要がありますが，随時，事業費の削減余地について検討が必要です。
学校管理運営経費（中学校）【教育総務課】	限られた予算内で，事業の目的を達成することができました。今後も継続する必要がありますが，随時，事業費の削減余地について検討が必要です。
学校施設耐震化事業（小学校）【教育総務課】	平成27年度末をもって耐震化率は，100%になりました。
学校施設耐震化事業（中学校）【教育総務課】	平成27年度末をもって耐震化率は，100%になりました。
学校施設環境改善事業（中学校）【教育総務課】	平成27年度で，普通教室に空調を整備することができました。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
適正規模の学校で学ぶ児童生徒比率	適正規模の学校で学ぶ児童生徒数÷児童生徒総数	%	58.7 (H23)	74.1	65.7
学校施設耐震化率	耐震化施設棟数÷全施設棟数 (200㎡以上)	%	77.9 (H22)	100.0	100

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.27	4.44
平成27年度調査	3.05	4.07
平成28年度調査	3.07	4.06

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	03生涯学習の推進
具体的取り組み例	公民館での各種講座・学級の開催，図書館の利用促進

1 総括評価

B	評価コメント
	生涯学習情報の収集や提供を行い，生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や，知識・経験ともに豊富な地域の人材を大いに活用し，社会還元型の生涯学習を進めます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市民が生涯いきいきとした生活を送れるための事業を実施するとともに，幅広い年齢層への広報活動を促進します。

2 主要事業の概要

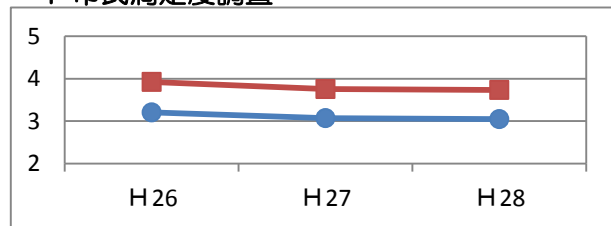
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中央図書館管理運営経費【生涯学習課】	利用者のニーズに沿い，安全性に配慮した図書館運営を行い，利用者の利便性向上に向けた取り組みを行います。
中央公民館管理運営経費【中央公民館】	講座・学級等を開催し，学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指した施設環境を整備することで利用者の拡大を図ります。
放課後子ども教室推進事業【生涯学習課】	放課後児童クラブとの一体的な実施を視野に入れ，地域・学校と連携し，子どもの自主性・創造性・社会性を育みます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
放課後子ども教室参加者数	放課後子ども教室に参加する児童数	人	-	1,000	2,095
公民館の年間利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数	人	59,800 (H22)	53,000	40,890
図書資料蔵書数	一般書，児童書，雑誌及び視聴覚資料の総数	作品	194,011 (H25)	225,000	203,330
来館者数	中央図書館への年度間来館者数	人	128,310 (H25)	140,000	138,841

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.21	3.92
平成27年度調査	3.07	3.76
平成28年度調査	3.05	3.74

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	04生涯スポーツの推進
具体的取り組み例	つくばねマラソンなどのイベントの実施，ニュースポーツの推進

1 総括評価

B	評価コメント
	天候の影響による体育施設利用人数の減少，スポーツ種目の増加・多様化等による体育協会加盟登録人数の減少，少子化の影響によるスポーツ少年団登録人数の減少により成果指標の目標値の達成はできませんでした。つくばねマラソンやサイクリング大会等のイベント並びにプール利用者については，参加者が前年より増加し，スポーツに親しむ環境の提供ができたとともに健康増進の効果が認められる。今後は，目標の達成や市民満足度の向上に向け検討が必要です。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	少子高齢化や多種多様なニーズに応えられるよう，施設の維持管理や環境整備を行います。

2 主要事業の概要

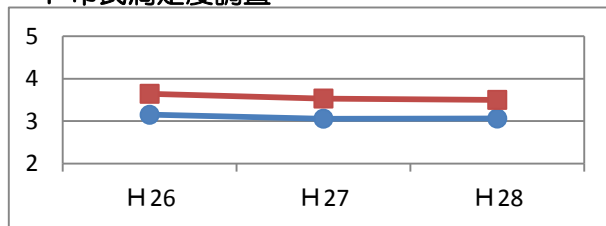
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
スポーツイベント事業【スポーツ振興課】	市民の健康増進と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
体育施設利用人数	体育施設を利用した延べ人数	人	386,720	400,000	385,917
石岡市体育協会加盟登録人数	石岡市体育協会への加盟登録人数	人	2,406(H22)	2,400	2,145
スポーツ少年団加盟登録人数	スポーツ少年団への加盟登録人数	人	1,012(H22)	1,000	825
【参考指標】イベント等の参加者数	市主催イベント等の参加者数	人	24,791(H26)	—	28,945

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.15	3.64
平成27年度調査	3.06	3.53
平成28年度調査	3.06	3.50

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	05文化・芸術の推進
具体的取り組み例	美術展・芸術祭・文化祭などの開催，文化活動支援

1 総括評価

B	評価コメント
	各事業は，事務事業の内容により計画的に取り組みを進めています。市民会館やイベント広場は，施設の特性に応じた活用が図られており，地域の文化振興や催事の拠点となっていることが，「成果指標」からも分かります。また，「加盟団体数」は目標値を超えており，文化芸術団体に対する支援や助成に一定の効果があると認められます。市美術展の来場者数については，文化芸術団体と連携することで，活動に取り組む人と活動に興味を持つ人との交流の場が創出されて，文化芸術活動の活性化を図ることができると考えます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市民会館は老朽化が進行していますが，施設の適正な管理・維持に努めながら，地域の文化芸術振興の拠点として多様な世代が参加できる事業を展開していきます。また，市民が親しみやすい文化芸術活動を展開し，文化芸術に親しみ創る人と観る人が交流できる創造性豊かな地域文化の向上を目指します。

2 主要事業の概要

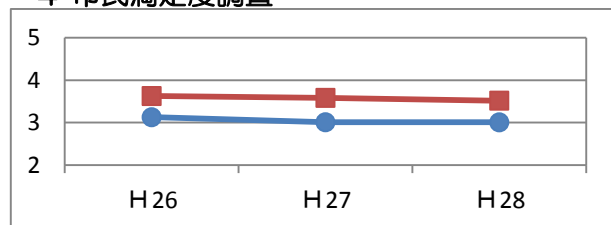
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
施設運営経費【市民会館】	施設の老朽化が進む中，利用者の利便性の向上に努めると共に，魅力ある事業を実施します。
施設維持管理経費【市民会館】	市内では，1,000人規模のホールを有する唯一の施設であり，多くの方に利用されています。しかし，築48年と老朽化が進む中，時代に対応した施設のあり方などの検討が必要です。
芸術・文化振興事業【文化振興課】	これまで文化芸術団体や市民と連携を図りながら，多くの市民が親しみやすい文化芸術活動の展開に取り組んできました。しかし，事業の内容によっては類似する事業があることから，事業の統合や実施方法の見直し等を行い，事業の効率化を図りつつ内容の充実を図ります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
市民会館施設利用者数	ホール・会議室等（8室）の利用人数	人	63,958 (H24)	65,000	68,739
石岡市美術展の開催	石岡市美術展の来場者数	人	1,388 (H24)	1,500	1,175
文化協会の育成	文化協会の加盟団体数	団体	33 (H24)	35	38

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.13	3.63
平成27年度調査	3.01	3.58
平成28年度調査	3.01	3.52

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	06青少年の健全育成
具体的取り組み例	青少年相談員による街頭活動などの補助・支援，青少年を育てる会の活動補助

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>青少年の健全育成に関する各種事業を実施するとともに，市民の理解を得られるよう広報活動に取り組み，地域での青少年育成活動を推進しています。</p> <p>子ども会事業の実施および子ども会指導者等の育成事業を行い，石岡市全体の明るく健やかな子どもの育成を推進しています。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>共働きの増加等により，執行役員として活動出来る人材が減っています。事業内容，組織体系等のありかたを検討する必要があります。</p>

2 主要事業の概要

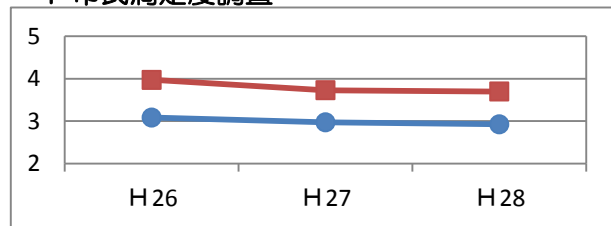
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
青少年育成事業【生涯学習課】	活動実態を踏まえた活動計画の改善等を検討する必要があります。
子ども会育成事業【生涯学習課】	限られた人員で効果的な成果を目指すため，効率的な事業推進に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
青少年相談員街頭活動回数	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭活動回数	回	78 (H24)	80	76
青少年を育てる石岡市民の会事業数	青少年を育てる石岡市民の会が開催する事業数	回	6 (H24)	7	8
石岡市子ども会育成連合会事業数	石岡市子ども会育成連合会が開催する事業数	回	6 (H24)	7	5
青少年ボランティア活動回数	青少年ボランティア団体がボランティア活動をした回数	回	9 (H24)	10	13

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.08	3.97
平成27年度調査	2.97	3.73
平成28年度調査	2.92	3.70

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	07歴史・文化財の保護・活用
具体的取り組み例	文化財継承のための修理支援，文化財の有効活用

1 総括評価

C	評価コメント
	発掘調査経費，文化財保護保存及び普及経費の事務事業については，各種事業を計画的に進めてきましたが，事務の一部不適切な処理がありました。今後，事務処理上の重要な事項に関して，関係法令等に則り適正な執行を心がけていきます。事務事業の成果として，平成28年度当初の指定文化財及び国登録文化財の件数は，143件となっており目標値を達成している状況です。平成27年度からは定期的に「ふるさと歴史館企画展」を開催しており，昨年度7回の企画展を開催してきた中で，アンケート結果からリピーターがいることが分かり企画展について一定の成果が認められます。さらに，企画展とは別に毎年「文化財発掘調査報告会」を開催することで，市民の文化財や歴史遺産に対する関心を高めるよう努めます。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	個々の文化財の特性に応じた活用を進めていきます。また，常陸国衙跡のAR化を進めるなど，中心市街地の看板建築等や市内の貴重な文化財を保存・活用することで，歴史に親しめる環境を目指します。

2 主要事業の概要

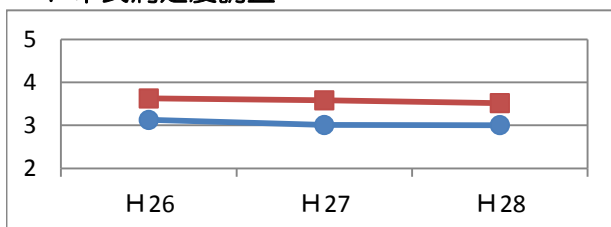
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
発掘調査経費【文化振興課】	調査件数自体は安定しており，今後も現状を維持して遺跡の保存に努めていきたいと考えます。なお，文化財の保護保存に市民の理解を得ることは不可欠であるため，調査の成果を分かりやすく市民に還元するなどして文化財の重要性を広めていきたいと考えます。
文化財保護保存及び普及経費【文化振興課】	文化財の保護保存及び活用事業は，今後ますます重要度が増すと思われることから，積極的に普及啓発の推進を図っていきます。また，国指定史跡については，保存・活用計画の策定を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
指定文化財及び登録文化財	国・県・市指定文化財及び登録文化財件数	件	141 (H23)	143	143

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.13	3.63
平成27年度調査	3.01	3.58
平成28年度調査	3.01	3.52

07時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
1 積極的な情報発信と対話の充実	B	<p>構成する事務事業を見ると、広報紙やホームページなどを活用し積極的な情報発信に努め、また市長へのたよりや懇談を行い市民との対話の充実に努めています。各指標を見ると、市ホームページはリニューアルに伴うカウント方法の変更により目標を下回っていますが、全体的には順調に推移しています。市民満足度調査の結果を見ると、重要度は減少していますが満足度はほぼ横ばいとなっています。</p>	<p>市政に関する情報を市民と共有する開かれたまちづくりを目指し、積極的且つ的確な情報発信の更なる推進を図り、市民の市政への参画意識を高めてまいります。</p>
2 庁舎の整備・行政サービスの充実	B	<p>施設や設備・機器等の経年劣化が進行していることから、改修や修繕・更新等が必要です。現在、本庁では、防災拠点としての機能強化や、より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため新庁舎建設を進めています。</p>	<p>庁舎の整備やコンビニエンスストアでの各種証明書等の発行サービスを開始したことにより、今後は、わかりやすく、迅速かつ正確な窓口サービスの充実を目指して行きます。</p>
3 地域情報化の推進	B	<p>ウェブアクセシビリティ基準における、ウェブコンテンツ達成等級のAA等級を達成しました。また、各種システム及び機器の安定稼働を、年間を通して実施することができました。</p>	<p>石岡市地域情報化計画に基づき、国・県の計画と整合性を図りながら、システムのクラウド化等、新たな技術動向や社会動向等を調査研究し、時代に即した効率的な行政運営を図るため、業務・システムの最適化を目指します。</p>
4 広域行政の推進	B	<p>効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体と一部事務組合を構成し、広域的な行政サービスに取り組んでいます。また、平成28年3月に市民の利便性の向上と地域間交流を目的に、行方市、小美玉市及び茨城町と「公の施設の広域利用に関する協定書」を締結しました。さらに、平成28年10月1日に三村簡易水道と湖北水道企業団の統合を進めています。</p>	<p>効率的で効果的な行政運営を進めるため、周辺自治体との連携を推進する必要があります。</p>
5 男女共同参画の推進	B	<p>少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化などが進行する中、豊かで活力ある社会の実現を図るためには、女性の社会進出が不可欠であり、男女共同参画の理念が重要となっています。審議会等への女性の積極的な登用や理念啓発のためのセミナーへの参加者の確保などが課題となっております。</p>	<p>第1次男女共同参画基本計画が平成29年度に終了することから、市民の意識変化を把握する調査を実施し、その検証等を行い新たな計画の策定を進めます。</p>

07時代の変化に的確に対応できるまちへ

施策名称	総括評価		今後の方向性
6国際交流の推進	B	<p>国際交流団体との連携体制を構築し、市内居住の外国人向け、英語、中国語、韓国語、タイ語、ポルトガル語の5カ国語による、「多言語版くらしの便利帳」を、団体との連携により、内容等の見直しを進めることができました。</p> <p>石岡市国際交流団体連絡協議会：平成26年8月に、国際交流活動を行う市内団体等の相互の情報交換等を目的に発足した協議会です。</p> <p>参加団体：石岡市日本中国友好協会/石岡ライオンズクラブ/石岡ロータリークラブ/グローバルハーツ/フレンドシップいしおか</p>	<p>市と市内国際交流団体が連携し、交流団体の活動を支援するとともに、国際交流への関心を高めていきます。また、異なる文化や考え方をお互いに理解しあい、ともに支えあう多文化共生社会の実現は重要な課題です。</p>
7人材育成の強化	B	<p>石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また、職員の健康管理については、健康診断後の健康指導が必要な職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策を実施しています。</p>	<p>今後とも基本的な研修だけでなく、専門的及び実践的な研修に力を入れ、職員に必要なとされる能力育成するため様々な研修を実施します。</p>
8行財政改革の推進	B	<p>行財政改革実施計画に取り組み、公共サービスを提供するために必要となる、人財・財産・財源・情報の行政資産を強化しております。平成27年度は44の実施項目中25の実施項目について、取り組みを実施しました。</p>	<p>行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング（見直し）を行い、各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。</p>

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	01積極的な情報発信と対話の充実
具体的取り組み例	戦略的・効果的な情報発信および市民との対話の充実

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	構成する事務事業を見ると、広報紙やホームページなどを活用し積極的な情報発信に努め、また市長へのたよりや懇談を行い市民との対話の充実に努めています。各指標を見ると、市ホームページはリニューアルに伴うカウント方法の変更により目標を下回っていますが、全体的には順調に推移しています。市民満足度調査の結果を見ると、重要度は減少していますが満足度はほぼ横ばいとなっています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	市政に関する情報を市民と共有する開かれたまちづくりを目指し、積極的且つ的確な情報発信の更なる推進を図り、市民の市政への参画意識を高めてまいります。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
広報活動経費【秘書広聴課】	広報紙においては、掲載内容を精査し、簡潔にまとめるとともに、見やすく分かりやすいレイアウトにするなど、引き続き工夫していきます。また、市ホームページにおいては、即時性・双方向性などの特性を生かし、より積極的な情報発信をしていきます。
市民相談経費【秘書広聴課】	広報活動と連携することで、意見・要望・苦情については、多くの市民の意向を把握することができました。しかし、回答期限が守られていないのが現実です。回答の遅れが苦情になることを避け、回答の迅速化を図り、庁内でも情報共有が図られるようにします。
議員活動運営経費【庶務議事課】	今年度は、成果指標であるホームページアクセス件数が目標値を上回るとともに、傍聴者数も増加しました。また、議会報告会に向けた協議・検討が進められました。今後は、議会報告会開催のサポート等、さらなる情報発信に向けた取組を行っていきます。

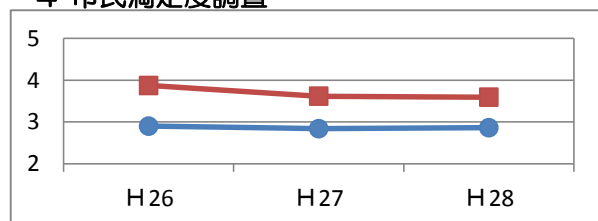
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
ホームページアクセス件数	市ホームページへのアクセス件数	件	304,323(H22)	450,000	244,759※
ホームページアクセス件数	議会ホームページへのアクセス件数	件	20,506(H22)	24,000	30,820
市民からの市政への提案数	「市長へのたより」における提案型の内容の割合	%	15(H24)	30	40
年間の市例規集の更新回数	例規集を随時更新し、最新の例規情報を市民に公表します。	回	10(H24)	12	10

※一定時間内の同一パソコンからのアクセスは何度アクセスしても1件とする計測方法により算出しています。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.90	3.87
平成27年度調査	2.84	3.62
平成28年度調査	2.86	3.59

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	02庁舎の整備・行政サービスの充実
具体的取り組み例	住民票等自動交付機の運用や窓口延長サービス，防災機能を備えた使いやすい新庁舎整備

1 総括評価

B	評価コメント
	施設や設備・機器等の経年劣化が進行していることから，改修や修繕・更新等が必要です。現在，本庁では，防災拠点としての機能強化や，より良い市民サービスの提供及び効率的な行政運営を行うため新庁舎建設を進めています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	庁舎の整備やコンビニエンスストアでの各種証明書等の発行サービスを開始したことにより，今後は，わかりやすく，迅速かつ正確な窓口サービスの充実を目指して行きます。

2 主要事業の概要

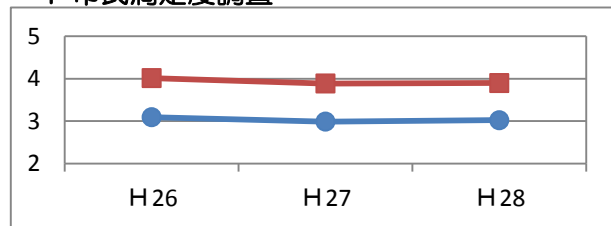
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
自動交付機運用経費【情報政策課】	コンビニ証明書発行取扱店の拡大状況や番号制度導入等国の動向も踏まえ，利用者の利便性向上を可能とするシステムの維持管理及び構築検討を行っていきます。
新庁舎建設事業【管財課】	新庁舎建設の進捗状況など，適切な時期に広報等を行い，市民の理解を得ながら早期の完成を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
自動交付機の利用率の向上	いしおか市民カード，住民基本台帳カードの保有率	%	48.0 (H23)	60	51.8
【参考指標】					
コンビニエンスストアでの交付利用率の向上	マイナンバーカードの交付枚数	枚	0	20,000	725

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.09	4.01
平成27年度調査	2.99	3.89
平成28年度調査	3.02	3.90

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	03地域情報化の推進
具体的取り組み例	情報システム基盤の最適化やセキュリティ強化、公共施設予約システムの構築

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	ウェブアクセシビリティ基準における、ウェブコンテンツ達成等級のA等級を達成しました。 また、各種システム及び機器の安定稼働を、年間を通して実施することができました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	石岡市地域情報化計画に基づき、国・県の計画と整合性を図りながら、システムのクラウド化等、新たな技術動向や社会動向等を調査研究し、時代に即した効率的な行政運営を図るため、業務・システムの最適化を目指します。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
電算業務経費【情報政策課】	基幹系システムの安定運用を行うことにより、継続した住民サービスを可能とすると共に、クラウドコンピューティング等新たな技術動向を踏まえながら、より信頼性のある安全で効率的なシステム構築を行ってまいります。

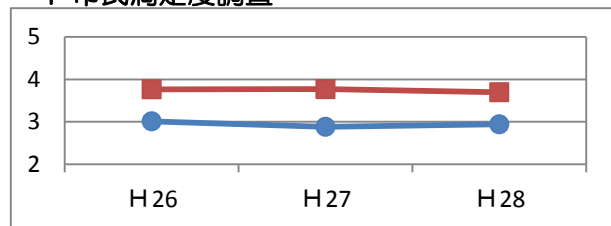
※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27(実績値)
ウェブアクセシビリティ達成基準	ウェブコンテンツ「JIS X 8341-3:2010に準拠」の達成等級	等級	A(H24)	AA	AA
各種システム・機器の安定稼働	各種システム及び機器の安定稼働を継続します。	日	365(H22)	365	358※

※7日間の差については、庁舎電気設備点検等による未稼働日です。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.01	3.77
平成27年度調査	2.88	3.77
平成28年度調査	2.94	3.70

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	04広域行政の推進
具体的取り組み例	周辺自治体との連携強化，広域事務処理の見直し

1 総括評価

B	評価コメント
	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体と一部事務組合を構成し，広域的な行政サービスに取り組んでいます。また，平成28年3月に市民の利便性の向上と地域間交流を目的に，行方市，小美玉市及び茨城町と「公の施設の広域利用に関する協定書」を締結しました。さらに，平成28年10月1日に三村簡易水道と湖北水道企業団の統合を進めています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	効率的で効果的な行政運営を進めるため，周辺自治体との連携を推進する必要があります。

2 主要事業の概要

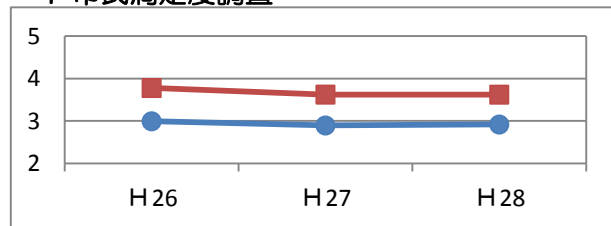
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
諸協会等関係経費【秘書広聴課】	各種協議会等を通じての情報収集や他自治体との交流，より有効な取り組みの要請など，組織加入によるメリットを市民生活に反映できるように努めます。
石岡地方斎場組合負担金【生活環境課】	「石岡地方斎場」運営管理のための構成市町村負担金，適正な管理運営により利用者の満足度向上に努めます。
広域行政の推進【政策企画課】	単独市では，課題に対応，処理することが困難な事案もあり，周辺自治体との連携強化による広域行政の充実が必要です。平成28年10月より「つくば地域広域連携研究会」で，現状や課題から連携可能な事業を見出すため，意見交換や調査を実施する予定です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
定住自立圏構想勉強会等の開催	定住自立圏構想勉強会等の開催回数	回	¹ (H22)	1	0
市民一人当たりのサービス負担額	一部事務組合（ごみ，し尿，斎場）等の負担金÷人口	円／年	12,014 (H22)	10,800	10,722

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.99	3.78
平成27年度調査	2.89	3.62
平成28年度調査	2.91	3.62

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	05男女共同参画の推進
具体的取り組み例	女性のための困りごと相談の実施，男女共同参画セミナーの開催

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化などが進行する中，豊かで活力ある社会の実現を図るためには，女性の社会進出が不可欠であり，男女共同参画の理念が重要となっています。審議会等への女性の積極的な登用や理念啓発のためのセミナーへの参加者の確保などが課題となっております。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>第1次男女共同参画基本計画が平成29年度に終了することから，市民の意識変化を把握する調査を実施し，その検証等を行い新たな計画の策定を進めます。</p>

2 主要事業の概要

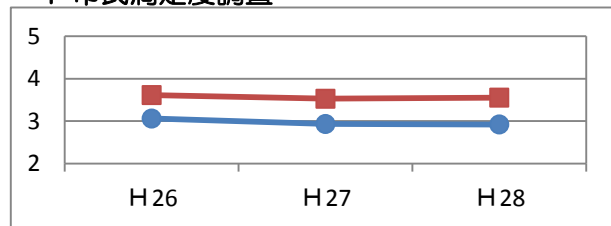
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
男女共同参画推進事業【政策企画課】	市民を対象とした普及啓発活動や女性のための困りごと相談などを実施しています。次期計画策定に向け，検証等を行い新たな計画を策定します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
審議会等委員の女性の登用率	市の審議会等における女性委員の割合	%	13 (H22)	30	24

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	3.06	3.61
平成27年度調査	2.93	3.53
平成28年度調査	2.92	3.55

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	06国際交流の推進
具体的取り組み例	国際交流活動を行う団体への事業支援，多言語版くらしの便利帳作成

1 総括評価

B	評価コメント
	<p>国際交流団体との連携体制を構築し，市内居住の外国人向け，英語，中国語，韓国語，タイ語，ポルトガル語の5カ国語による，「多言語版くらしの便利帳」を，団体との連携により，内容等の見直しを進めることができました。</p> <p>石岡市国際交流団体連絡協議会：平成26年8月に，国際交流活動を行う市内団体等の相互の情報交換等を目的に発足した協議会です。</p> <p>参加団体：石岡市日本中国友好協会/石岡ライオンズクラブ/ 石岡ロータリークラブ/グローバルハーツ/フレンドシップいしおか</p>
<p>A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要</p>	今後の方向性
	市と市内国際交流団体が連携し，交流団体の活動を支援するとともに，国際交流への関心を高めていきます。また，異なる文化や考え方をお互いに理解しあい，ともに支えあう多文化共生社会の実現は重要な課題です。

2 主要事業の概要

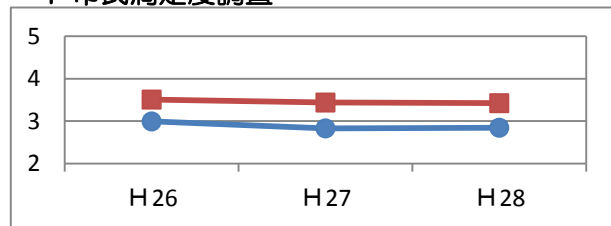
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国際交流事業【政策企画課】	市，国際交流団体が役割分担し，市と市内国際交流団体が連携し，国際交流への関心を高めていく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
国際交流活動参加者数	「国際交流のつどい」来場者数	人	1,000 (H22)	1,000	2,130

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.99	3.51
平成27年度調査	2.83	3.44
平成28年度調査	2.84	3.42

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	07人材育成の強化
具体的取り組み例	各種研修の実施による職員の能力向上

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	石岡市職員人材育成基本方針に基づき、毎年度、職員研修実施計画を作成し、職務遂行に必要な知識、技能等の修得を目的とした研修を実施しています。また、職員の健康管理については、健康診断後の健康指導が必要な職員へのフォローアップやメンタルヘルス対策を実施しています。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	今後とも基本的な研修だけでなく、専門的及び実践的な研修に力を入れ、職員に必要とされる能力育成するため様々な研修を実施します。

2 主要事業の概要

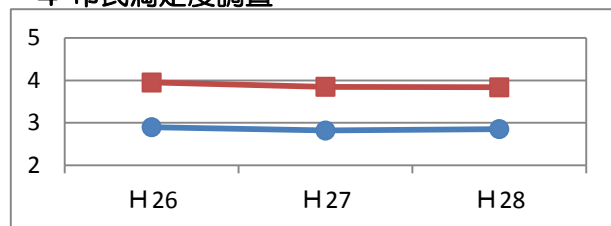
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
職員研修経費【総務課】	研修アンケートで「だいたい理解できた」まで含めると約94%に達することから一定の成果が表れています。平成28年度より研修の効果を高めるために研修復命書とあわせて、研修をどのように活用したいか目標設定を立ててもらったり研修後のフォローアップアンケートを行うことで、研修内容を日頃の業務に活かす取組を行います。
職員福利厚生費【総務課】	職員の健診受診率の100%を目標とする一方で、要精密検査の該当職員や健康指導が必要な職員へのフォロー体制の充実やメンタルヘルス対策を強化していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値	H27 (実績値)
各種研修の受講者数	真に求められている研修を開催し、学ぶ機会を拡大します。	人	1,175 (H22)	1,350	1,163

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.90	3.95
平成27年度調査	2.82	3.85
平成28年度調査	2.85	3.84

平成28年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	07時代の変化に的確に対応できるまちへ
基本施策	08行財政改革の推進
具体的取り組み例	行財政改革大綱に基づく効率的な行政運営

1 総括評価

<h1>B</h1>	評価コメント
	行財政改革実施計画に取り組み、公共サービスを提供するために必要となる、人財・財産・財源・情報の行政資産を強化しております。平成27年度は44の実施項目中25の実施項目について、取り組みを実施しました。
A 順調 B 概ね順調 C 改善が必要 D 見直しが必要	今後の方向性
	行財政改革大綱に基づき策定している実施計画の有効性を維持するため、個々の実施項目について毎年度ローリング（見直し）を行い、各実施項目の進捗状況に応じて内容の修正及び追加を行っていきます。

2 主要事業の概要

事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
行財政改革推進事業【行革推進課】	第2次石岡市行財政改革大綱に基づく実施計画を策定しました。大綱では、「行政資産の強化とサービスの適正化」をテーマに掲げ、4の取組方針、11の取組項目で規定したツリー構造としています。実施計画では、大綱の取組項目を細分化した実施項目を設定し着実に執行するなど、行財政改革を推進していきます。また、実施項目等を毎年見直すとともに、市民の方や行財政改革推進委員会の意見を聴きながら、大綱の進捗管理を行います。

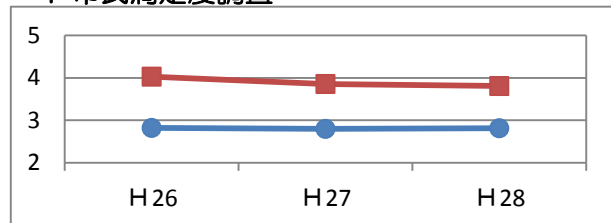
※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	指標の説明	単位	初期値	目標値※	H27 (実績値)
石岡市行財政改革実施計画の実施項目	実施項目のうち取組実施数	項目	—	44	25

※目標値は、石岡市行財政改革実施計画期間の最終年度（平成33年度）までに取り組むべき実施項目数を挙げており、毎年度、進捗状況等に応じて内容の修正及び追加を行います。また、実施項目によっては、実施までに調査・検討を要する項目があります。

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成26年度調査	2.82	4.03
平成27年度調査	2.80	3.86
平成28年度調査	2.81	3.81